

2021年度事業報告

事業報告各種資料



公益財団法人

ボーイスカウト日本連盟

目 次

< 青少年プログラム関係 >

1. 2021年度「スカウトの日」全県連盟実施報告書集計表	1
2. 2021年度富士スカウト章・宗教章 県連盟別取得者数	2
3. 富士スカウト章受章者一覧	3
4. ジャンボリー・オン・ジ・エア (JOTA) 2021 / ジャンボリー・オン・ジ・インターネット (JOTI) 2021 参加者数	4

< 国際関係 >

1. 海外派遣事業	6
2. 各種国際会議・コース等への出席・参加・奉仕	6
3. 招聘事業	8
4. 外国指導者の来日	8
5. 国内開催国際関係会合等	8
6. 県連盟・地区・団等による「海外派遣」	8
7. 国際紹介状の発給	9
8. 県連盟・地区・団等による「外国スカウト受入計画」	9
9. 外国連盟からの表彰	9
10. 外国連盟指導者への表彰	9
11. 国際協力資金について	9
12. 第10回アジア太平洋地域 (APR) サミット会議	10
13. 第42回世界スカウト会議	12
14. 第27回アジア太平洋地域 (APR) スカウト会議	20

< 指導者養成関係 >

1. 指導者訓練機関開設状況	29
2. ボーイスカウト講習会開設状況	33
3. ウッドバッジ研修所開設状況	
スカウトコース	34
課程別研修	
(1) ビーバースカウト課程	35
(2) カブスカウト課程	36
(3) ボーイスカウト課程	37
(4) ベンチャースカウト課程	38
スカウトコース+課程別研修 (一括開設型)	38
4. 団委員研修所開設状況	39
5. コミッショナー研修開設状況	40
6. ウッドバッジ実修所・団委員実修所 第二教程履修状況	
(1) 隊指導者上級訓練課程「ウッドバッジ実修所」	41
(2) 団指導者上級訓練課程「団委員実修所」	42
7. 日本連盟トレーニングチーム員人数表	43

< 運営関係 >

1. 2021年度県別維持会員数・維持会費入金状況表	44
2. 褒章・叙勲等受章者、物故者	45
3. 他団体の役員・委員等の就任状況	46
4. 各種名簿	47

＜ 青少年プログラム関係 ＞

１．２０２１年度「スカウトの日」全県連盟実施報告書集計表

県連盟	参加状況				実施プログラム(団数/複数回答)						追加情報		回収されたゴミの内訳 (回収した袋の数)			資源ごみの内訳	
	申請数 (団)	報告数 (団)	スカウト (人)	指導者 (人)	環境 保全	社会 奉仕	災害 復興	国際 貢献	一般 児童	オリジ ナル	植樹 本数	協力 団体数	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	空き缶	ペット ボトル
北海道	5	4	15	22	4	1	0	0	0	0	0	47	67	55	40	214	140
青森	3	2	13	9	2	0	0	0	0	0	0	0	4	3	2	72	30
岩手	2	2	88	47	2	0	0	0	0	0	2	0	6	2	1	0	0
宮城	2	2	49	19	2	0	0	0	0	0	0	0	11	2	3	15	14
秋田	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形	3	1	7	3	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	9	5
福島	4	2	28	12	1	1	0	1	0	0	0	9	0	0	0	0	0
茨城	25	16	200	127	13	4	0	2	1	1	0	4	1,039	17	48	199	112
栃木	8	5	113	61	3	1	0	0	0	1	0	3	15	3	13	211	185
群馬	17	9	126	54	7	4	2	0	0	3	30	4	50	30	33	251	189
埼玉	55	26	447	180	21	7	0	2	1	3	530	4	133	46	55	346	235
千葉	64	46	659	517	37	11	7	1	0	8	1,811	9	205	98	144	833	636
神奈川	63	26	371	215	23	4	2	1	0	3	2	2	77	32	43	277	239
山梨	4	2	18	8	2	1	0	0	0	0	0	0	63	10	6	20	59
東京	58	24	327	218	22	7	1	0	0	3	3	5	94	45	10	402	104
新潟	2	4	99	31	3	0	0	0	0	3	0	0	2	1	1	1	0
富山	8	3	65	28	3	1	0	0	0	1	0	0	103	60	8	24	52
石川	9	6	78	47	6	2	0	0	0	0	0	0	22	19	6	30	32
福井	7	7	75	50	4	2	0	0	0	3	0	0	9	7	57	62	35
長野	13	10	142	110	8	5	0	0	0	3	0	2	23	18	8	38	27
岐阜	16	11	173	112	8	1	1	0	0	1	0	3	36	21	68	138	91
静岡	42	14	175	120	14	5	1	0	0	1	0	2	71	14	17	180	123
愛知	105	73	1,031	654	59	14	4	3	0	6	33	44	236	94	250	798	733
三重	8	5	75	32	4	2	0	0	0	1	0	0	24	7	7	67	76
滋賀	14	7	83	43	7	0	0	0	0	0	0	0	119	7	21	69	72
京都	17	5	48	39	5	1	0	0	0	0	0	0	18	4	14	49	18
兵庫	52	30	578	264	25	10	2	2	0	7	2	4	108	48	70	493	522
奈良	17	9	154	78	9	1	1	0	0	1	0	1	26	13	68	199	167
和歌山	10	6	96	67	6	0	0	0	0	1	0	1	21	6	63	98	98
大阪	55	42	558	338	38	8	1	3	1	8	367	34	228	93	134	696	498
鳥取	8	4	88	45	4	2	0	0	0	1	0	2	46	46	22	47	94
島根	5	3	15	15	3	0	0	0	0	0	0	0	4	3	1	36	47
岡山	12	3	44	20	3	0	0	0	0	0	0	21	9	10	8	55	50
広島	15	5	54	19	5	0	0	0	0	1	0	0	12	7	5	16	20
山口	10	8	115	63	7	1	0	0	0	2	5	2	15	22	7	5,881	403
徳島	5	3	33	20	3	0	0	0	0	0	0	0	3	4	3	61	49
香川	7	1	16	10	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	15	19
愛媛	18	12	177	88	12	1	0	0	0	1	0	0	171	61	16	181	95
高知	1	1	13	9	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡	24	9	135	82	7	2	1	0	0	1	0	0	62	10	15	56	46
佐賀	1	1	29	10	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	30	32	8
長崎	7	4	45	26	4	2	0	0	0	0	0	3	32	21	0	30	40
熊本	5	3	36	15	3	1	0	0	0	0	0	1	30	18	3	12	10
大分	7	1	22	8	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	6	12	17
宮崎	11	11	74	62	10	2	1	0	0	4	0	1	91	13	175	69	217
鹿児島	8	7	51	35	6	1	1	0	0	0	0	3	20	17	16	32	43
沖縄	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	836	475	6,838	4,032	410	105	27	15	3	68	2,785	211	3,310	992	1,499	12,326	5,650

2. 2021年度富士スカウト章・宗教章 県連盟別取得者数

県連盟	富士スカウト章		宗 教 章							
	2021年度	前年度	仏 教	キリスト教	神 道	金光教	世界救世教	天理教	合計	前年度
北海道	0	0	2	1	6				9	1
青森	0	0	1						1	0
岩手	1	1							0	0
宮城	3(2)	0	1	5	2				8	5
秋田	0	0							0	0
山形	0	0							0	0
福島	2(2)	0	2						2	0
茨城	1	0		1					1	2
栃木	0	1	3						3	1
群馬	2(2)	1							0	1
埼玉	5(3)	9	31						31	36
千葉	1(1)	1	1	1	2				4	4
神奈川	6(5)	0	9	5	15				29	1
山梨	0	0							0	0
東京	37(24)	9	25	17	7		1		50	35
新潟	0	0	1						1	1
富山	0	0	12						12	5
石川	0	0							0	0
福井	0	0							0	0
長野	0	1(1)							0	1
岐阜	2(2)	0	5						5	9
静岡	8(5)	2(1)	5				3	1	9	31
愛知	10(1)	16	23		17				40	14
三重	0	0	2						2	0
滋賀	0	1	4						4	3
京都	2(2)	0	1	1	3				5	0
兵庫	4(3)	6(3)	14	3					17	22
奈良	7(7)	2	2					2	4	2
和歌山	1(1)	0							0	1
大阪	15(8)	3	7	2	3	1	2		15	15
鳥取	0	0			1				1	0
島根	0	0							0	0
岡山	3(1)	0		2					2	2
広島	3(2)	2	3						3	2
山口	1(1)	2	2						2	0
徳島	0	0							0	0
香川	0	0							0	0
愛媛	1	2							0	4
高知	0	0							0	0
福岡	5(5)	1	4			1			5	2
佐賀	0	0							0	0
長崎	0	0							0	3
熊本	0	0							0	0
大分	0	0							0	0
宮崎	0	0							0	0
鹿児島	0	0							0	0
沖縄	0	0							0	0
合計	120(77)	60(5)	160	38	56	2	6	3	265	203

※（）カッコ内は新型コロナウイルス感染症による活動自粛に伴う特例措置による認証

3. 富士スカウト章受章者一覧

(1) 2020年度富士スカウト章受章者一覧

2020年4月1日～2021年3月31日

No.	県連盟	氏名
4062	静岡	石野 由明

※2020年度事業報告書未掲載分

合計 17県連盟60人

(2) 2021年度富士スカウト章受章者一覧

2021年4月1日～2022年3月31日

No.	県連盟	氏名	No.	県連盟	氏名	No.	県連盟	氏名
4063	埼玉	加藤 まや	4103	大阪	今井 稀子	4143	兵庫	谷川 詩恩 ※
4064	東京	金澤 佑 ※	4104	大阪	木下 侑真 ※	4144	兵庫	田中 佑汰 ※
4065	東京	御代 大樹 ※	4105	大阪	川端 健一 ※	4145	静岡	神戸 拓海 ※
4066	東京	岩崎 有沙 ※	4106	大阪	鎌田 剛史	4146	神奈川	秋山 悠 ※
4067	東京	阪口 和紀	4107	大阪	西家 航世 ※	4147	神奈川	二宮 瑠星 ※
4068	東京	高橋 梨々花	4108	大阪	森次 礼智 ※	4148	神奈川	遠藤 廉 ※
4069	千葉	竹内 佳奈 ※	4109	和歌山	植木 健介 ※	4149	神奈川	岸浪 晴馬 ※
4070	京都	本多 峰之 ※	4110	福岡	小林 寛人 ※	4150	神奈川	齊藤 美雪 ※
4071	東京	矢代 緑 ※	4111	福岡	立野 晃太郎 ※	4151	静岡	島崎 睦巳 ※
4072	東京	國重 奏人	4112	福岡	堂免 真衣 ※	4152	大阪	高橋 昂 ※
4073	東京	能島 明希	4113	岐阜	新井 智大 ※	4153	大阪	杉谷 心 ※
4074	東京	瀧澤 龍馬	4114	岐阜	林 明日香 ※	4154	大阪	福田 健太郎 ※
4075	東京	佐藤 颯 ※	4115	愛知	柴田 恭兵	4155	大阪	福田 浩太郎 ※
4076	東京	三好 彩 ※	4116	静岡	岩崎 悠 ※	4156	兵庫	貝原 汰一
4077	東京	佐々木 勢直 ※	4117	静岡	村田 優樹	4157	茨城	田崎 敦司
4078	東京	塚本 傑 ※	4118	岡山	小原 知也	4158	広島	難波 駿
4079	東京	綿貫 孝哉 ※	4119	岡山	伊藤 大貴	4159	東京	雨宮 海翔
4080	東京	小泉 結依 ※	4120	岡山	高橋 理子 ※	4160	東京	小松 陸人
4081	東京	水谷 萌 ※	4121	埼玉	黒沢 綾音 ※	4161	東京	安達 悠登
4082	東京	内田 志保子 ※	4122	埼玉	大阿久 翔一 ※	4162	東京	神山 恵太
4083	東京	古賀 友翔 ※	4123	埼玉	吉野 優輝	4163	東京	間野 怜央
4084	東京	阿部 遥 ※	4124	奈良	今井 駿佑 ※	4164	広島	村岡 祐輔 ※
4085	東京	矢島 亮太 ※	4125	奈良	下間 瑞希 ※	4165	大阪	森弘 一太郎
4086	東京	糸川 愛留 ※	4126	奈良	石崎 真之介 ※	4166	愛媛	伊藤 颯士
4087	東京	木下 航太 ※	4127	奈良	清原 武尊 ※	4167	東京	ロゼンブルーム ジェイ
4088	東京	菊池 大翔 ※	4128	奈良	柏田 将摩 ※	4168	東京	野村 美嘉
4089	東京	橋本 史奏 ※	4129	奈良	高崎 翔也 ※	4169	愛知	加藤 春香
4090	東京	諸橋 莉沙 ※	4130	奈良	山本 康輔 ※	4170	東京	樋泉 丈太
4091	東京	宮本 愛未 ※	4131	静岡	東 孝輔 ※	4171	福島	長井 和輝 ※
4092	東京	平野 達也 ※	4132	静岡	加藤 瑞樹	4172	福島	國岡 拓真 ※
4093	東京	宮本 颯大 ※	4133	京都	山本 輝 ※	4173	岩手	鈴木 倫太朗
4094	東京	長谷川 穂香 ※	4134	宮城	後 海咲 ※	4174	愛知	堀尾 勇友
4095	神奈川	酒井 康佑	4135	宮城	木幡 明	4175	愛知	吉川 真由
4096	埼玉	宮澤 康平 ※	4136	宮城	新井 彩子 ※	4176	愛知	富本 青
4097	愛知	高井 紗璃 ※	4137	山口	岑 綾音 ※	4177	愛知	今井 理一朗
4098	大阪	前田 奈々	4138	福岡	松永 知也 ※	4178	愛知	松井 葵
4099	広島	守田 俊介 ※	4139	福岡	石貫 慎人 ※	4179	愛知	尾羽 杏介
4100	静岡	酒井 舞華 ※	4140	群馬	谷内 萌桃 ※	4180	愛知	藤原 あすか
4101	静岡	諏訪部 柚	4141	群馬	樹下 真子 ※	4181	大阪	尾崎 総
4102	大阪	松下 千花	4142	兵庫	川元 天照 ※	4182	大阪	岸本 怜旺

合計 22県連盟120人

※は新型コロナウイルス感染症による活動自粛に伴う特例措置で2020年度分の認証

4. ジャンボリー・オン・ジ・エア(JOTA)2021 / ジャンボリー・オン・ジ・インターネット(JOTI)2021参加者数

No.	県連盟	団名・社団名	参加形態			実施形態					ｽｶｯﾄ	参加者			訪問者	合計
			両方	JOTA	JOTI	県	地区	団・隊	個人	その他		指導者	小計	内 ホﾞﾚｰﾀｰ		
1	宮城	仙台第1団	○							○	2	2	4	4	0	4
2	茨城	つくば第1団	○					○			9	9	18	7	3	21
3	茨城	牛久第1団		○				○			8	10	18	1	0	18
4	栃木	宇都宮第12団		○				○			9	7	16	5	5	21
5	群馬	大泉第5団			○			○			6	6	12	0	5	17
6	埼玉	川越第9団		○				○	○		4	11	15	14	1	16
7	千葉	千葉県連盟	○			○					32	24	56	10	6	62
8	千葉	船橋第14団			○			○			4	3	7	0	2	9
9	千葉	市原第6団	○					○			16	7	23	0	0	23
10	千葉	銚子第3団	○					○			20	21	41	2	7	48
11	神奈川	川崎地区 国際委員会			○		○				1	4	5	0	0	5
12	神奈川	横浜第27団		○				○			2	5	7	5	3	10
13	神奈川	相模原第10団			○			○			2	4	6	0	0	6
14	神奈川	鎌倉第2団		○					○		1	0	1	1	0	1
15	神奈川	平塚第4団	○					○			10	9	19	5	4	23
16	東京	港第5団			○			○			2	1	3	0	1	4
17	東京	文京第1団		○				○	○		2	4	6	3	0	6
18	東京	文京第6団		○					○		0	1	1	1	0	1
19	東京	目黒第8団		○				○			2	5	7	3	0	7
20	東京	杉並第11団	○					○			6	2	8	0	6	14
21	東京	練馬第17団	○					○	○		5	7	12	5	2	14
22	東京	瑞穂第1団			○			○			6	5	11	0	0	11
23	東京	狛江第1団		○					○		0	1	1	1	0	1
24	新潟	新潟第15団			○			○			13	2	15	0	5	20
25	岐阜	下呂第1団		○					○		0	1	1	0	0	1
26	静岡	静岡県連盟		○		○					3	2	5	5	6	11
27	静岡	熱海第11団	○					○			12	3	15	2	3	18
28	静岡	沼津第1団		○					○		0	1	1	1	0	1
29	静岡	浜松東地区		○			○				5	6	11	5	4	15
30	愛知	名古屋第91団		○		○		○	○		8	5	13	1	0	13
31	愛知	名古屋第101団			○			○			15	3	18	0	0	18
32	愛知	新城第3団			○			○	○		4	1	5	0	0	5
33	滋賀	滋賀連盟無線局		○		○					19	14	33	20	0	33
34	滋賀	大津第21団			○			○			3	3	6	1	2	8
35	滋賀	草津第3団	○						○		1	1	2	1	0	2
36	滋賀	守山第1団		○				○			5	2	7	6	0	7
37	京都	京都 第50団			○			○			3	3	6	0	0	6
38	兵庫	尼崎第3団			○			○			8	3	11	3	0	11
39	兵庫	尼崎第26団			○			○			10	5	15	0	2	17
40	兵庫	西宮第20団			○			○			11	5	16	0	0	16
41	兵庫	神戸第43団		○					○		1	1	2	2	0	2
42	兵庫	神戸第60団			○			○			20	5	25	0	0	25
43	兵庫	小野第1団		○				○			4	1	5	1	0	5

No.	県連盟	団名・社団名	参加形態			実施形態					参加者				訪問者	合計
			両方	JOTA	JOTI	県	地区	団・隊	個人	その他	効外	指導者	小計	内オペレーター		
44	兵庫	姫路第8団			○		○				48	24	72	0	9	81
45	奈良	奈良第6団		○					○		1	1	2	1	0	2
46	奈良	生駒第5団		○					○		0	1	1	1	0	1
47	和歌山	和歌山第18団	○					○			3	1	4	2	1	5
48	和歌山	海草第1団			○				○		0	0	0	0	0	0
49	大阪	ほくせつ地区		○			○				77	47	124	0	19	143
50	大阪	箕面第2団			○			○			32	13	45	0	12	57
51	大阪	豊中第1団		○		○					0	6	6	6	0	6
52	大阪	豊中第15団		○			○				32	9	41	0	0	41
53	大阪	豊中第22団			○			○			11	3	14	0	2	16
54	大阪	茨木第1団			○			○			7	8	15	0	0	15
55	大阪	茨木第2団			○			○			5	3	8	0	2	10
56	大阪	茨木第9団			○			○			16	12	28	0	2	30
57	大阪	島本第1団			○			○			10	8	18	0	0	18
58	大阪	吹田第4団			○			○			8	10	18	0	4	22
59	大阪	吹田第6団			○			○			8	10	18	2	0	18
60	大阪	吹田第9団			○			○			9	7	16	0	0	16
61	大阪	吹田第9団			○			○			10	7	17	0	1	18
62	大阪	大阪第70団			○			○			9	7	16	0	2	18
63	大阪	枚方第5団			○			○			3	4	7	0	0	7
64	大阪	枚方第8団		○				○			10	3	13	0	0	13
65	大阪	枚方第9団	○					○	○		26	13	39	1	0	39
66	大阪	枚方第18団			○			○			20	6	26	1	11	37
67	大阪	門真第1団			○			○			15	8	23	0	0	23
68	大阪	寝屋川第7団			○			○			9	10	19	0	1	20
69	大阪	守口第2団			○			○			15	18	33	2	2	35
70	大阪	岸和田4団	○					○	○		7	1	8	3	2	10
71	大阪	泉佐野第4団			○			○			10	8	18	0	5	23
72	熊本	熊本第19団		○				○			3	3	6	2	0	6
73	群馬	GS 群馬県第4団	○					○			3	2	5	3	0	5
74	大阪	GS 大阪府第19団			○			○			0	3	3	0	0	3
		計	15	26	35	5	5	54	18	1	701	471	1,172	139	142	1,314
		(参考) 2020 年度実績	17	20	44	4	7	52	17	2	660	459	1,119	124	176	1,295

2020 年度実績

JOTA 参加 39 件 (両方参加を含む)

JOTI 参加 52 件 (両方参加を含む)

参加者 1,119 人 (うちオペレーター124 人) JOTA・JOTI 合算

2021 年度実績

JOTA 参加 41 件 (両方参加を含む)

JOTI 参加 50 件 (両方参加を含む)

参加者 1,174 人 (うちオペレーター140 人) JOTA・JOTI 合算

この他に一般局による JOTA 参加の報告

JOTA 参加 9 件

参加者 12 人 (うちオペレーター9 人)

< 国際関係 >

1. 海外派遣事業

本年度は、昨年度からの新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大の影響により、当初予定されていた6事業を中止し、世界およびAPRスカウトユースフォーラムはオンラインでの開催となった。

フィルモント派遣は今年度の希望県連盟が無かったため実施しなかった。

新型コロナウイルスの感染拡大防止策として中止とした派遣事業：

- (1) カンダーシュテーク夏季野営スタッフ派遣
- (2) スカウト特別海外派遣（霞会館補助事業）
- (3) スカウト・オーストラリア短期留学（学習旅行）派遣
- (4) フィルモント派遣
- (5) 韓日スカウトフォーラム派遣
- (6) CJKプロジェクト派遣

オンライン開催に変更された事業

- (1) 第14回世界スカウトユースフォーラム派遣（オンライン開催に変更）

期 間：8月18日（水）～8月22日（日）5日間

参加者：代表 荒岡草馬（福岡）、小池さくら（愛知）

オブザーバー 武田 蒼（山形）、俣野 陽（東京）、北村梨沙（島根）

- (2) 第10回APRスカウトユースフォーラム派遣（オンライン開催に変更）

期 間：2022年2月9日（水）～2月13日（日）＊2月11日を除く4日間

参加者：代表 小林千乃（兵庫）、小池さくら（愛知）

オブザーバー 北村梨沙（東京）、大竹晴登（東京）

2. 各種国際会議・コース等への出席・参加・奉仕

2021年度に実施された国際会議・コース等は、2020年度に引き続き新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大防止対策として、すべてオンラインで開催され、日本連盟からは次のとおり参加した。出席行事は2019年度の22件からオンライン開催となったことで2020年度の45件、2021年度の62件と大幅に増加している。（第10回APRサミット、第42回世界スカウト会議、第27回APRスカウト会議については、第12項以降を参照）

	会議・コース等	期間	出席者・参加者・奉仕者
1	APR 運営委員会	4/04-4/11	嶋田寛 APR スカウト委員会第一副委員長
2	APR スカウト委員会	4/04-4/11	嶋田寛 APR スカウト委員会第一副委員長
3	APR 表彰授与式（APRサミット会議内）	4/10	鈴木令子 APR 表彰委員
4	APR ガバナンス小委員会	4/12	出田行徳 APR ガバナンス小委員
5	WOSM コンサルタント・ネパール連盟プログラム方針立案	4/13	中野まり WOSM コンサルタント
6	APR スカウト財団 30 周年記念事業企画チーム会議	4/21	村山正 APR スカウト財団運営委員
7	WOSM 表彰委員会	4/28	中野まり WOSM 表彰委員
8	APR 運営委員会	5/02	嶋田寛 APR スカウト委員会第一副委員長
9	APR リーダートレーニング	5/07	嶋田寛 APR スカウト委員会第一副委員長
10	APR MoP 各国連盟コーディネーター会議	6/01	竹内和夫 APR MoP ナショナルコーディネーター
11	APR ガバナンス小委員会	6/02	出田行徳 APR ガバナンス小委員
12	WOSM コンサルタント・ネパール連盟プログラム方針立案	6/06	中野まり WOSM コンサルタント
13	WOSM GSAT 分析会事前会合	6/09, 23, 7/08, 16	福嶋・嶋田・出田各理事、中野・松平各副 IC、大久保事務局長他
14	APR スカウト財団 30 周年記念事業企画チーム会議	6/10	村山正 APR スカウト財団運営委員

15	WOSM SDGs ウェビナー	6/20	中野まり WOSM コンサルタント
16	APR 管理委員会	6/20	嶋田寛 APR スカウト委員会第一副委員長
17	スリランカ連盟国際カルチャージャンボリー	6/23-7/18	嶋田寛 APR スカウト委員会第一副委員長
18	APR MoP10 周年会議	6/24-6/27	竹内和夫 APR MoP ナショナルコーディネーター
19	MoP 10 周年記念式典	6/24-6/27	嶋田寛 APR スカウト委員会第一副委員長
20	WOSM 表彰委員会	6/28	中野まり WOSM 表彰委員
21	WOSM GSAT 分析会	7/28-7/30	福岡・嶋田・出田各理事、中野・松平各副 IC、大久保事務局長他
22	APR コミュニケーション・パートナーシップ ワークショップ	7/29-7/31	松平頼昌 APR コミュニケーション・パートナーシップ 小委員長
23	WOSM GSAT 分析会事後会合	9/10, 10/08	福岡・嶋田・出田各理事、中野・松平各副 IC、大久保事務局長他
24	WOSM コンサルタント・ネパール連盟プログラム方針立案	7/11	中野まり WOSM コンサルタント
25	25WSJ 組織委員会と日本派遣団との会議	7/27	佐野派遣団長・出田副団長、他 5 人
26	APR MoP 各国連盟コーディネーター会議	7/29	竹内和夫 APR MoP ナショナルコーディネーター
27	APR ガバナンス小委員会	8/04	出田行徳 APR ガバナンス小委員
28	WOSM ファシリテータートレーニング	8/05	中野まり WOSM コンサルタント
29	25WSJ ウェビナー	8/08	出田副団長、嶋田国際コミッショナー、大久保事務局長他
30	WOSM コンサルタント・ネパール連盟プログラム方針立案	8/08	中野まり WOSM コンサルタント
31	APR スカウト財団 30 周年記念事業企画チーム会議	8/12	村山正 APR スカウト財団運営委員
32	APR 国際平和デイ特別ミーティング	9/06	竹内和夫 APR MoP ナショナルコーディネーター
33	APR スカウト財団 30 周年記念事業企画チーム会議	9/09	村山正 APR スカウト財団運営委員
34	臨時 APR 各国スカウト連盟代表者会議	9/11	大久保秀人事務局長
35	WOSM コンサルタント・ネパール連盟プログラム方針立案	9/19	中野まり WOSM コンサルタント
36	WOSM 表彰委員会	10/04	中野まり WOSM 表彰委員
37	WOSM リスニングイヤートレーニング	10/05	中野まり WOSM コンサルタント
38	APR ガバナンスワークショップ	10/06	出田行徳 APR ガバナンス小委員
39	WOSM JOTI 指導者サイトファシリテーター	10/15-10/16	中野まり WOSM コンサルタント
40	APR スカウト委員会	10/15-10/17	松平頼昌 APR コミュニケーション・パートナーシップ 小委員長
41	25WSJ 派遣団長会議（第 1 回）	10/22-10/24	出田副団長、嶋田国際コミッショナー、大久保事務局長他
42	APR MoP 各国連盟コーディネーター会議	10/28	竹内和夫 APR MoP ナショナルコーディネーター
43	WOSM コンサルタント・ネパール連盟プログラム方針立案	10/31	中野まり WOSM コンサルタント
44	APR ガバナンス小委員会	11/10	出田行徳 APR ガバナンス小委員
45	WOSM 表彰委員会	11/18	中野まり WOSM 表彰委員
46	APR スカウト委員会	11/28	鈴木令子 APR 表彰委員
47	APR スカウト財団運営委員会	11/30	村山正 APR スカウト財団運営委員
48	APR ガバナンス小委員会	12/01	出田行徳 APR ガバナンス小委員
49	WOSM 表彰委員会	12/02	中野まり WOSM 表彰委員
50	APR アダルトインスカウティング小委員会	12/09	大久保秀人 APR アダルトインスカウティング小委員
51	APR アダルトインスカウティング小委員会	12/16	大久保秀人 APR アダルトインスカウティング小委員

52	APR 事務局長会議	1/22-1/23	大久保秀人事務局長
53	APR スカウト委員会	1/22	松平頼昌 APR コミュニケーション・パートナーシップ 小委員長
54	APR アダルトインスカウティング小委員会	1/25	大久保秀人 APR アダルトインスカウティング小委員
55	APR ガバナンス小委員会	1/27	出田行徳 APR ガバナンス小委員
56	APR コースフォーリーダー・トレーナー（所員）	2/04-2/13	大久保秀人 APR アダルトインスカウティング小委員
57	世界表彰委員会	2/07	中野まり 世界表彰委員会委員長
58	APR ソーシャル・インパクト小委員会	2/21	松平頼昌 APR ソーシャル・インパクト小委員長
59	APR ユース・エンゲージメント小委員会	2/21	片寄 朗 APR ユース・エンゲージメント小委員
60	APR エデュケーショナル・メソッド小委員会	2/21	大久保秀人 APR エデュケーショナル・メソッド小委員
61	APR ガバナンス小委員会	2/21	出田行徳 APR ガバナンス小委員
62	WOSM2021-2024 担当委員キックオフミーティング	2/27	中野まり 世界表彰委員会委員長

3. 招聘事業

海外派遣と同様、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大の影響により、当初予定されていた3事業を前年度に続いて中止した。

日韓スカウト交歓計画については、韓国連盟との調整の結果、2023年1月は同年8月に韓国で開催の第25回世界スカウトジャンボリー準備を考慮して中止し、2024年1月に再開を予定することとした。

新型コロナウイルスの感染拡大防止策として中止とした招聘事業

- (1) CJK ベンチャープロジェクト派遣（日本開催）
- (2) オーストラリア交換留学生受け入れ
- (3) 日韓スカウト交歓計画

4. 外国指導者の来日

今年度の外国指導者の来日はなかった。

5. 国内開催国際関係会合等

- (1) 第25回世界スカウトジャンボリー派遣実行委員会（第1回）

日 時：10月12日（火）19：30～21：30

場 所：オンライン開催

出席者：佐野実行委員長・派遣団長他9人

- (2) 第25回世界スカウトジャンボリー派遣実行委員会（第2回）

日 時：11月18日（木）19：30～21：30

場 所：オンライン開催

出席者：佐野実行委員長・派遣団長他10人

- (3) 第25回世界スカウトジャンボリー派遣実行委員会（第3回）

日 時：2月4日（金）19：30～21：30

場 所：オンライン開催

出席者：佐野実行委員長・派遣団長他10人

6. 県連盟・地区・団等による「海外派遣」

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、2020年度に都道府県連盟宛に、県連盟・地区・団等による「海外派遣」の中止あるいは延期を依頼したため、今年度の申請は前年度に続いてなかった。

7. 国際紹介状の発給

個人的な旅行・研修・出張・留学等の目的で海外に渡航する加盟員に県連盟経由の申請に基づき「国際紹介状」を10通発給した。その内訳は次のとおりである。

申請者所属県連盟別集計：東京7件、愛知2件、三重1件

渡航先地域集計：アメリカ3件、カナダ3件、台湾2件、メキシコ1件、スペイン1件

8. 県連盟・地区・団等による「外国スカウト受入計画」

県連盟・地区・団等の計画による「外国スカウト受入計画」として承認された計画はなかった。

9. 外国連盟等からの表彰

今年度の外国連盟等からの表彰は次の4人に贈られた。

A P R 特別功労章 (APR Award for Distinguished Service)

中野まり 国際副コミッショナー (元世界スカウト委員)

A P R 委員長章 (APR Chairman's Award)

松平頼昌 国際副コミッショナー

(A P R コミュニケーション・パートナーシップ小委員会委員長)

A P R 功労表彰 (APR Certificate of Good Service)

近藤明彦 元A P R マネージメント小委員会委員

片寄 朗 元A P R アダルトインスカウティング小委員会委員

10. 外国連盟指導者への表彰

(1) 国際親善章の贈呈

今年度は国際親善章の表彰はなし

(2) 国際功労章の贈呈

今年度は国際功労章の表彰はなし

11. 国際協力資金について

(1) 国際救援基金による外国連盟等への義捐金の送金

①世界スカウト機構 (W O S M) 「ウクライナのスカウトの緊急人道支援活動の支援」

国・地域：W O S M

内 容：2022年2月24日付「W O S M のウクライナ情勢に関する声明」に基づく、W O S M のスカウト
寄付プラットフォームを通じた寄付

送 金 日：2022年3月7日

送 金 額：1,000 U S ドル

(2) 海外派遣貸付金【2022年3月末日に再確認】

全1人 110,000円 貸付中

12. 第10回アジア太平洋地域（APR）サミット会議

第10回アジア太平洋地域（APR）サミット会議

概 要 報 告

会議期間： 2021（令和3）年4月4日（日）に開会式
4月6日（火）～4月11日（日）の14時～16時にビジネスセッション
会議場所： オンライン会議
対 象 者： APR各国連盟のチーフコミッショナー、国際コミッショナー、
事務局長の3人に、今回は各国連盟より2人まで追加可能
会議内容： ①APR3年間計画の進捗状況の確認
②APRの主要な課題に関する協議・検討
③APRの将来の方向性の準備
④2021年8月の第42回世界スカウト会議に向けたAPRとしての準備
⑤2022年2月の第27回APRスカウト会議（台湾）の準備

1. 日本代表団の編成

<日本代表団3人>

1. 福嶋 正己 理事・日本連盟コミッショナー
2. 嶋田 寛 理事・国際コミッショナー
3. 大久保秀人 事務局長

<追加枠で参加した者2人>

4. 中野 まり 国際副コミッショナー
5. 佐藤 栄保 事務局長付 / 大高 駿 事務局マネージャー

<APRの職をもって参加した者2人>

6. 松平 頼昌 APRコミュニケーション・パートナーシップ小委員長
7. 鈴木 令子 APRコンサルタント・表彰委員

2. 会議出席国・人数

APR26カ国 119人

他、世界スカウト機構及びAPR関係者 合計約150人

<参加国> () 内は人数

アフガニスタン（5）、オーストラリア（5）、バングラデシュ（5）、ブータン（5）、ブルネイ（5）、カンボジア（5）、台湾（5）、フィジー（3）、インド（5）、インドネシア（5）、日本（5）、韓国（5）、マカオ（3）、マレーシア（5）、モルジブ（5）、モンゴル（4）、ミャンマー（5）、ネパール（4）、ニュージーランド（5）、パキスタン（5）、パプアニューギニア（3）、フィリピン（5）、シンガポール（5）、スリランカ（5）、東ティモール（5）、ベトナム（5）
キリバスは不参加

3. 日程と内容

- 4月 4日（日）開会式、オリエンテーション、APRスカウト委員会（以降毎日会議後に開催）
4月 6日（火）各国連盟のGSAT、APR3年計画の進捗報告、各国連盟のガバナンス報告、第26回APR会議決議の実施状況、第27回APR会議に向けた準備
4月 7日（水）各国連盟の加盟員拡大事例、青年の参画事例、今後のWOSM3カ年計画案
4月 8日（木）今後のAPR3カ年計画案説明、各国連盟のSFH、分科会の説明
4月 9日（金）分科会導入、分科会、分科会発表
4月10日（土）各国連盟のAIS状況、世界スカウト会議・フォーラムの説明、世界スカウト行事紹介、表彰式
4月11日（日）サミット提言の提案、閉会式

4. サミット提言

APRから発表されたサミット提言は、第27回APRスカウト会議における協議に反映される。

5. オンライン集合写真

初めてのオンラインサミット会議となり、ZOOM画面での参加者の集合写真が公開された。

第10回APRサミット提言

ガバナンス

ニュージーランド連盟提案

APRスカウト委員会が、決議 10/18 アジア太平洋地域 GSAT に従い、すべての勧告を実施し、外部から委託されたGSATを各国スカウト連盟と他の地域に対してガバナンスにおけるベストプラクティスを実証するために完了することを支持する。

青年の関与

ニュージーランド連盟提案

- 全てのAPR小委員会は次のことを確約する：
- ・任命される者の20%が30歳未満であること

スカウティングにおける成人（教育手法）

ニュージーランド連盟提案

1. 全てのAPR小委員会が次のことを確約する：
 - ・地域横断的に候補者を公募すること
 - ・選考プロセスの一環として、候補者の専門的な経験を考慮すること

ニュージーランド連盟・マレーシア連盟提案

2. APRスカウト委員会と小委員会は、すべての地域イベントにおいて「セーフ・フロム・ハーム」対策を実施し、「セーフ・フロム・ハーム」の重要性と優れた実践を積極的に示すこと；

すべてのAPRスカウト委員会および小委員会の会議において、「セーフ・フロム・ハーム」を議題として含めること；

また、すべての連盟にセーフ・フロム・ハームの重要性を推進し、セーフ・フロム・ハームの文化を発展させ、実践することを支援する。

各国連盟のセーフ・フロム・ハーム方針、行動規範・倫理・およびその他の関連する手順を強化し、フォローアップする。各国スカウト連盟は、スカウティングに関与するすべての成人がセーフ・フロム・ハームの学習を受けよう」に」する必要がある。

教育手法

マレーシア連盟提案

1. パンデミック後（集団予防接種後）の行事や活動、対面式プログラムの運営に関するガイドラインを制定する。－ 各国スカウト連盟のこれらを管理・運営するための手順とガイドライン
2. 若者と成人のためのプログラムおよびトレーニング（パンデミック時）を再検討し、その妥当性を評価する。

青少年プログラム（教育手法）

シンガポール連盟提案

青少年プログラムでは、特にSDGsプロジェクトにおいて、スカウト活動の充実や参加に焦点を当てるのではなく、教育・学習の成果に焦点を当てるよう奨励する。

多様性と包括性

シンガポール連盟提案

特別なニーズなどの多様性と包括性が十分でないように思われる。多様性と包括性の目標の一部として、特別なニーズを持つスカウトを含めることを推奨する。

APR内のスペシャルニーズを持つスカウトのニーズを調査し、指導者がこれらのニーズをサポートできるような青少年プログラムの枠組みと成人研修モデルを開発する。

各国スカウト連盟は、現在、特別なニーズがない場合は、それに対応する必要がある。

コミュニケーションとパートナーシップ

オーストラリア連盟提案

すべてのAPRスカウト委員会と小委員会は、今後予定されている会議の少なくとも半分をバーチャルで実施することを確約する。さらに、バーチャルなワークショップやイベントは、実際の集まりの代わりとして検討されるべきである。

世界スカウト機構と地域の方針と優先事項

オーストラリア連盟提案

1. APRは、次期APR計画（2022-2025）が次期世界3か年計画（2021-2024）と完全に整合するよう勧告する決議 12/18 への確約を再確認する；
2. APRは、次の3年間（2022-2025）の小委員会の構造を、APR計画に記載された戦略的優先事項に合わせて再編成し、小委員会の職務権限もこれらの新しい優先事項を支援するために再集中させる。

13. 第42回世界スカウト会議

第42回世界スカウト会議概要報告

会議期間：2021（令和3）8月25日（水）～29日（日）

*当初は、2020年8月24日（月）から28日（金）までエジプトで開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、1年延期され初めてのオンラインでの開催となった

開催場所：オンライン開催

主催：世界スカウト機構

テーマ：Bridging the World（世界をつなぐ）

日本代表団：合計20人（代表6人、オブザーバー14人）

<代表6人>

1. 水野 正人 日本連盟理事長（首席代表）
2. 佐野 友保 専務理事
3. 福嶋 正己 日本連盟コミッショナー
4. 嶋田 寛 国際コミッショナー
5. 荒岡 草馬 青年代表（福岡県連盟RS理事・第14回世界フォーラム日本首席代表）
6. 大久保秀人 事務局長

<オブザーバー14人>

7. 膳師 功 常務理事
8. 中野 まり 国際副コミッショナー
9. 松平 頼昌 国際副コミッショナー
10. 出田 行徳 進捗管理担当理事
11. 磯山 友幸 改革担当理事
12. 笹渕 真子 国際委員長
13. 小池 さくら 愛知RS・第14回世界スカウトフォーラム日本代表
14. 武田 蒼 山形RS・第14回世界スカウトフォーラム日本代表団オブザーバー
15. 俣野 陽 東京RS・第14回世界スカウトフォーラム日本代表団オブザーバー
16. 北村 梨沙 島根RS・第14回世界スカウトフォーラム日本代表団オブザーバー
17. 吉村 敏 事務局次長
18. 佐藤 栄保 事務局次付
19. 吉田 克己 事務局職員
20. 大高 駿 事務局職員

参加者数：170の国と地域より2300人（代表団、オブザーバー）

*8月18日（水）から8月22日（日）までオンラインで開催された第14回世界スカウトユースフォーラムは163の国と地域より713人の参加が発表された。

主要日程：

- 8月24日（火） 地域別会合（APR各国連盟首席代表とAPRスカウト委員のみ出席）
- 8月25日（水） ウェルカムザワールド、開会セッション、分科会
- 8月26日（木） ビジョン2023報告、分科会、世界スカウト委員候補者紹介、規約改正投票
- 8月27日（金） 24WSJ等の報告、WOSMサービス、世界行事招致投票、世界委員選挙結果
- 8月28日（土） 会議決議案の賛否投票、新世界スカウト委員長と副委員長の発表
- 8月29日（日） 会議決議案の賛否投票、閉会セッション

日程表：

日本時間17時から21時までのプログラムは、深夜2時から朝7時まで同じプログラムが行われ、各国の都合の良い時間で参加した。

日本時間	8月24日(火)	8月25日(水)	8月26日(木)	8月27日(金)	8月28日(土)	8月29日(日)
9:00 - 17:00	アジア太平洋地域 (APR) 青年代表会議 15:00-17:00		Q&Aセッションと ネットワーキング * 決議案 * 規約改正			世界スカウティンに ボランティアを招致する Q&A
17:00 - 21:00	Regional Meetings **	ウェルカム・ザ・ワールド * テクノロジーの活用 * 会議期間中の安全な過ごし方 * 国際班 * ダイアログ	ネットワーキングスペース	キャパシティビルディングと パートナーワークショップ	各国スカウト連盟 ショーケース	スカウトフォーSDGs NSOとパートナー ワークショップ
			世界スカウティン ショーケース WOSMサービス	ネットワーキングスペース	ネットワーキングスペース	国際ソーシャルイベント
				Q&Aセッションと ネットワーキング * Draft Resolutions * Constitutional Amendment	25WSJに関する Q&Aセッション (Republic of Korea, 2023)	会議成果の各国スカウト連盟 での実践
		毎日のサポートセッション * How to make the technology work * Well-being space * Spiritual space	毎日のサポートセッション * How to make the technology work * Well-being space * Spiritual space	毎日のサポートセッション * How to make the technology work * Well-being space * Spiritual space	毎日のサポートセッション * How to make the technology work * Well-being space * Spiritual space	毎日のサポートセッション * How to make the technology work * Well-being space * Spiritual space
						会議ライブスタジオ

日本時間 21時から25時までは、世界の参加者が同時に接続し、セッションと電子投票等を行った。

日本時間	8月24日(火)	8月25日(水)	8月26日(木)	8月27日(金)	8月28日(土)	8月29日(日)
21:00 - 25:00 find local time	地域別 会合 **	開会セッション Formal opening and unifying the Movement to come together and celebrate the strength and achievements over the last Triennium (Symbolic engagements, appointment of Officers, report on last Triennium, Youth Forum Report)	スカウティングの戦略- ビジョン2023の進捗報告 * Progress report * Celebrating Growth * Welcoming new WOSM members * Introduction to Triennial Plan 2021-2024	24WSJ報告 * 24th World Scout Jamboree (North America, 2019)	報告 Reporting * World Non-Formal Education Forum (Brazil, 2019)	報告 Reporting * JOTA-JOTI (2017-2020)
			分科会 Breakout Sessions Discovering the World Triennial Plan 2021- 2024	WOSMサービス に関する パネルディスカッション	会議決議 投票セッション * WOSM 3年次計画	会議決議 投票セッション * 決議案
			休憩 Break	休憩 Break	休憩 Break	
		休憩 Break	2021-2024世界海外委員 候補者のプレゼンテーション	報告 Reporting * World Scout Foundation * Kandersteg International Scout Centre	会議決議 投票セッション * 決議案	休憩 Break
		分科会 Breakout Sessions * Draft Resolutions * Constitutional Amendment	投票の説明	バンダミック後の 世界の青少年育成に関する WOSMとパートナー組織の パネルディスカッション		会議決議 投票セッション * 決議案
		休憩 Break	世界スカウト委員候補者との 個別質疑	休憩 Break	休憩 Break	
			休憩 Break			休憩 Break
		DEADLINE 15:00 GMT - Amendments to Constitutional Amendments 最終改正提案締め切り 25:00	財務報告 2017-2021	世界スカウト行事 招致プレゼンテーション * 26th World Scout Jamboree * 16th World Scout Moot * 43rd World Scout Conference and 15th World Scout Youth Forum	会議決議 投票セッション * 決議案	閉会セッション Formal closing and unifying the Movement to come together and celebrate the strength and future of Scouting (Bronze Wolf, outgoing WSC Chairperson Farewell address, Investiture of new WSC members, new WSC Chairperson Address, expressions of gratitude)
		分科会 Breakout Sessions * Draft Resolutions * Constitutional Amendment	規約改正 投票セッション 国際登録料システムの投票 Vote on 2021-B - WOSM Registration Fee System	2021-2024 世界スカウト委員の選挙 アナウンス	世界スカウト行事の投票結果、 世界スカウト委員会の 新委員長・副委員長の発表	
		本日のまとめ Wrap up of the day	国際班ミーティング	国際班ミーティング	国際班ミーティング	

日本代表団の準備：

会議に先立ち、8月10日（火）に日本代表団の打合せをオンラインで行い、各決議案への賛否対応、世界スカウト委員選挙等について、対応を検討した。
会議参加者全員にWOSMセーフ・フロム・ハームのeラーニングを事前に2コース履修することが求められ、日本代表団は全員修了した。
会議期間中には、日本代表団の連絡用オンライン会議を設定し、投票にあたって水野首席代表より説明と確認があり、日本連盟としての対応を行った。

主要議題： (<https://scoutconference.org/outcomes/> 参照)

今回は、初めてのオンラインでの世界スカウト会議となり、投票は前回アゼルバイジャンでの世界スカウト会議に続いて電子投票が取り入れられた。

また、全体会の様子は、YouTubeのWorld Scoutingチャンネルで同時配信された。

<https://www.youtube.com/user/WorldScouting>

1. 会議諸手続き

会議の手続き規則に則り、8月25日の開会セッションに続き、投票管理委員（テラー）11人、決議起草委員6人の信任投票が行われ、それぞれ全員が承認された。日本連盟からは松平頼昌国際副コミッショナーが投票管理委員となった。

2. 新加盟国連盟

前回の世界スカウト会議以降WOSMへの新規加盟国連盟の紹介があった。これらの国々は既に各国連盟により都度照会があり承認されている。

2019年1月10日 ベトナム

2020年1月 9日 アフガニスタン

2021年6月30日 ソロモン諸島

これにより、WOSMの正加盟は、172の国と地域となり、約5700万人が加盟している。

3. 世界スカウト委員選挙

8月26日に各候補者の紹介と候補者のビデオ、候補者との候補者との個別分科会が行われ、全体会の終了後から翌27日の全体会前までに各国連盟による投票が行われた。

今回の選挙は、25人が立候補し、前任期に引き続き再立候補した者が8人、新規に17人が立候補し、12人を選挙することとなった。

選挙の結果、2024年の世界スカウト会議までを任期とする新たな世界スカウト委員は、次の通りとなり、8月28日には当選者から新委員長と副委員長が発表された。（下線は2期目の委員）

Mr Edward Andrew “Andy” Chapman (United States of America) * 新委員長

Ms Sarah Rita Kattan (Lebanon) * 新副委員長

Mr Jo Deman (Belgium) * 新副委員長

Ms Pia Melin Graasbøll (Denmark) *
Mr Juan Reig (Spain) *
Mr Mehdi Ben Khelil (Tunisia) *
Ms Daiana Neil (Argentina)
Mr Wayne Adrian Davis (Ethiopia)
Ms Christine “Chrissy” Pollithy (Germany)
Mr Mori Chi-Kin Cheng (Hong Kong)
Mr Eun Gui Kim (Republic of Korea)
Ms Nika Gorovska (Ukraine)

直前に開催された第14回世界スカウトユースフォーラムでは、次の6人が選挙の結果、ユースアドバイザーに選出された。(任期は2024年のフォーラムまで)

Ms. Fatima Aliyeva (Azerbaijan)
Ms. Reese Medina (Belize)
Ms. Melissa Wilm Senna Pinto (Brazil)
Mr. Alhassan Soltan (Egypt)
Ms. Yoobinnara Kim (Republic of Korea)
Mr. Maman Lamine Soumana Ide Issa (Niger)

4. WOSM登録料システム（国際登録料）

8月26日に世界スカウト委員会の提案について説明があった。現行の国際登録料は2011年の世界スカウト会議で承認されたものが継続されており、これまでに改正案が検討されてきたが、COVID-19の影響で次の提案がなされた。

- ① WOSMの会計年度である2023-2024年まで、会議決議2011-02で承認された現行の登録料システムと、それにより凍結された各国連盟あたりの年間国際登録料を継続する。
- ② 世界スカウト委員会に各国連盟の登録状況と経済状況のモニタリングを継続し評価することを要請する：
 - a. 状況が十分に安定した場合、第43回世界スカウト会議（2024年）で検討するために新たな登録料制度案を提出させること。
 - b. 状況が十分に安定しない場合は、世界スカウト委員会に現行の登録料制度を2026-2027年度まで継続する権限を与え、第44回世界スカウト会議（2027年）で提案を行うこと。
- ③ 世界スカウト事務局に対しては次のことを要請する：
 - a. 各国連盟が直面している全体的な財務状況を反映して、保守的な予算計画を継続する。
 - b. 影響を受けた各国連盟に対し、国際登録料支払いに関する方針で規定されているようなカスタマイズされた支援を継続する。
 - c. 各国連盟に資金調達を提供し続け、資金調達のための新たなパートナーシップを模索する

これに対して、水野主席代表より全体会で「コロナ禍で苦しい環境に置かれた国と地域の事情を考えると、今回の改正の延期は止むを得ないが、次回の世界スカウト会議で先延ばしすることなく改正を決議できることを望む」旨の意見が出され、各国から出された意見を踏まえて原案のとおり承認され、決議に含まれることとなった。

5. 今後の世界スカウト行事開催国選挙

8月27日に今後の世界スカウト行事招致に関する説明があり、全体会終了後から翌28日の全体会までに各国連盟の投票が行われた。（各行事1か国の立候補となったため信任投票）

- (1) 2024年開催 第43回世界スカウト会議・第15回世界スカウトユースフォーラム
今回の会議がエジプトで開催予定であったが、オンライン開催となったため、3年後の会議にエジプトが再立候補し、エジプトでの開催が決定した。
- (2) 2025年開催 世界スカウトムート
当初、アゼルバイジャンとポルトガルの2か国が立候補していたが、アゼルバイジャンが辞退したことからポルトガルのみとなり、投票の結果、ポルトガルでの開催が決定した。
（第16回世界スカウトムートは2020年にアイルランドで開催予定であったが、COVID-19の影響で1年延期となったが、これ以上の準備が困難なため中止となっている）
- (3) 2027年 第26回世界スカウトジャンボリー
ポーランドが投票の結果、開催国に決定した。

6. 第42回世界スカウト会議決議

8月28日に世界スカウト委員会および各国スカウト連盟より提案された実務決議案の協議と投票が行われた。（決議文は次項参照）

7. WOSM規約（憲章）の一部改正

8月28日に会議決議に関連したセーフ・フロム・ハームに関する改正案が投票により承認された。

8. 分科会

会議期間中、決議案、3カ年計画に関する分科会が開催され、日本代表团もそれぞれ参加した。

9. その他

- (1) アジア太平洋地域（APR）首席代表会合
開会の前日となる8月24日（火）15時から17時まで、オンラインでAPR会合が開催された。
日本代表团からは、水野首席代表と嶋田代表（APRスカウト委員会第一副委員長として）が出席し、APRとしても対応について打合せを行った。

(2) 開会セッション

8月25日に開会セッションが行われ、前回世界スカウト会議以降の物故者で檀上善夫元国際委員長と小町國市元理事が紹介された。

(3) 閉会セッション

8月29日に閉会セッションが行われ、新旧世界スカウト委員長の挨拶、前回世界スカウト会議以降のブロンズウルフ受章者の紹介が行われ、日本連盟からは中野まり国際副コミッショナー（元世界スカウト委員）の2017年の受章が紹介された。

以 上

第42回世界スカウト会議 決議文（2021.9.10.現在仮訳）

2021-00 感謝決議 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）からの回復力

世界スカウト会議は、加盟国連盟の以下の努力に心から感謝の意を表する。

- COVID-19パンデミックという未曾有の難題に直面しながらも、地域社会への貢献を続けていること
- ユースプログラムやスカウティングにおける成人の研修を新しい現実に適応させるために、創造的かつ迅速に対応していること
- 若者に安全な環境での重要なノンフォーマル教育の経験の提供を率先して行っていること
- 若者が革新的な活動を通じてお互いにつながることを支援し、物理的に孤立した状態や大きな不安を抱えている時にサポートしていること

2021-01 新加盟国連盟の登録

世界スカウト会議は、

世界スカウト機構への次の組織の加盟を歓迎し、登録する。

- 2019年1月10日執行 ベトナム・スカウト連盟
- 2020年1月9日執行 アフガニスタン・スカウト連盟
- 2021年6月30日執行 ソロモン諸島・スカウト連盟

2021-02 世界スカウト機構（WOSM）登録料システム

世界スカウト会議は、

- 2011-2012年から2019-2020年までの会計年度において、すべての加盟国連盟に固定のWOSM登録料を設定した会議決議2011-02を想起する
- 2020年4月に行われた、2020-2021年度に現行のWOSM登録料制度を継続するという加盟国連盟の書面投票の決定を踏まえる
- 世界スカウト委員会・WOSM登録料に関するタスクフォースが、前回の会議で加盟国連盟から提起された懸念を受けて、少なくとも14種類の料金システムを検討し、広範な協議を行ったことを認識する
- COVID-19の世界的流行がスカウト人数に与えた大きな影響と、世界的な経済不況を認識する
- 加盟連盟のスカウト人数の回復と増加を支援するための「スカウト再活性化基金」の設立、および「メッセンジャーズオブピース基金」の継続的な利用を歓迎する
- WOSMの年間登録料に対する加盟団体の期待に対して、安定した予測可能な状況を提供することが包括的に必要であることを認識する
- WOSM規約第XXIII.1条に基づき、会議決議2011-02で承認された現行の登録料システムと、それに伴って凍結された加盟国連盟の年間支払額を、WOSMの会計年度である2023-2024年まで継続して実施することを決定する
- 世界スカウト委員会に対しては次のことを求める、
 - 加盟国連盟の経済状況やスカウト人数の状況の変化を注意深く監視し、第43回世界スカウト会議（2024年）でWOSM登録料システムの改訂案を検討できるかどうかを評価する
 - パンデミック後の経済状況やスカウト人数の状況を考慮して、2017-2020年の3か年計画で開発されたWOSMの登録料システムをさらに調整・評価する
- 世界スカウト委員会には次の権限を与える、
 - 第43回世界スカウト会議までに経済的・スカウト人数の安定性が十分に得られていないと判断した場合、現行のWOSM登録料制度を2026-2027年度まで継続して実施する
- 世界スカウト事務局には次のことを求める
 - 加盟連盟が直面している全体的な財務状況を反映して、保守的な予算計画の策定を継続すること
 - 登録料の支払いに関する方針で規定されているように、影響を受けた加盟連盟に合わせたサポートを継続すること
 - 加盟連盟に資金調達のを機会を提供し続け、資金調達のための新たなパートナーシップを模索すること

2021-03 スカウティングの戦略 – 2021-2024 世界3か年計画

世界スカウト会議は、

- 2023年までのスカウトの戦略として「ビジョン2023」を承認した大会決議2014-06を想起する
- 世界三年計画2014-2017および2017-2020の全体的な戦略的ガイドラインを承認した会議決議2014-07および2017-03を想起する
- 2017年～2020年の3年間で第42回世界スカウト会議の間のギャップを埋めるために策定されたWOSMの1年計画を考慮に入れている
- 主要業績評価指標（K P I）の使用を含む、世界スカウト委員会の真摯な報告に感謝の意を表する
- 今回の会議の関連セッションにおいて、「2021-2024世界3か年計画」目標案に関する加盟連盟間の議論の成果を考慮する
- 会議資料6Bに含まれる「世界3年計画2021-2024（修正後）」の目標案を、現行のスカウト戦略「ビジョン2023」の最後の3年の間に実施される作業の全体的な戦略的方向性として承認する
- 世界スカウト委員会に対し、2021年～2024年までの世界3か年計画に以下のことを保証するよう要請する
 - 利用可能なリソースの観点から、提案された目標の最終的な現実評価を行い、承認された会議決議との整合性を図る
 - 最終的な3か年計画と、その進捗を測るための重要業績評価指標（K P I）を承認し、計画を実施するための運営体制を確立する
 - 2021年12月31日までに3か年計画の最終版と定期的な進捗報告書を加盟連盟と共有する
- 世界スカウト委員会に対し、スカウト運動全体で「ビジョン2023」と「2021-2024世界3か年計画」の継続的な整合性を確保するための対策と行動をとるよう要請する
- 次期世界スカウト委員会に対し、スカウト運動に関与する参加型のプロセスを通じて、次期スカウト戦略（「ビジョン2023」以降）を策定し、第43回世界スカウト会議（2024年）で最終提案を検討するよう要請する
- 世界スカウト委員会に対し、このプロセスで得られた教訓を取り入れ、同様のアプローチで次期スカウト戦略の実施を開始するための「2024-2027世界3か年計画」の策定を要請する

2021-04 スカウト運動におけるセーフ・フロム・ハームの強化

世界スカウト会議は、

- スカウトを危害から守るという世界スカウトの強いコミットメントを強調するための会議決議1990-16、2002-07、2017-05の承認と実施を通じて得られた進展を認め、「世界セーフ・フロム・ハーム方針」を採択する
- 110年にわたって若者の能力強化をしてきたスカウト運動として、虐待者が児童虐待を行った事例に悩まされてきたことを認める
- スカウト運動を代表して、我々は以下のことを宣言する
 - 肉体的、言語的、感情的、性的なものを問わず、若者や大人に対するあらゆる虐待を強く非難する
 - スカウティングプログラムを、若者や大人に対して非難されるべき虐待行為を行うためのプラットフォームとして悪用した人がいることを嘆く
 - 虐待の事例に深く警戒し、被害者に心からお詫び申し上げる
 - 価値観に基づく運動として、若者から大人まで、すべての被害者の幸福を考える
 - 虐待の被害者に対する倫理的・法的責任を遵守するために加盟連盟が講じた措置を支持することを表明する
 - 本会議決議の完全な実施を含め、あらゆるレベルで前向きかつ緊急の措置を講じることを求める
- スカウト運動のすべてのレベルにおいて、「世界セーフ・フロム・ハーム方針」の継続的かつ強化された実施が緊急であることを再確認する
- 世界スカウト委員会および世界スカウト事務局に対し、加盟連盟の重要な優先事項として、「世界セーフ・フロム・ハーム方針」の実施を検討するよう要請し、以下の方法でこれを支援する
 - 加盟連盟が本会議決議の要請を達成できるよう支援を強化する
 - 2021年から2024年の3年間で、加盟連盟が「世界セーフ・フロム・ハーム方針」を遵守しているかどうかを監視するための定期的な評価メカニズムを構築し、テストし、展開する
 - 2025年時点での「世界セーフ・フロム・ハーム方針」の遵守を、各国の規制や要件に配慮しながらどのように実施するのが最善かを検討する
 - 世界および地域のすべての行事、コミュニケーション、資源活用において、「セーフ・フロム・ハーム」ガイドラインを完全に統合し実施する
 - 世界および地域のスカウト行事で「セーフ・フロム・ハーム」に関する事故が発生した場合、今後の事故のリスクを軽減するために学ぶ文化を確保する
 - 加盟連盟間の調整と最善の措置の共有を強化する
 - 加盟連盟と世界スカウト事務局が協力して、不適切な成人がスカウト運動の中でボランティア活動をするのを防ぐ方法を調査する
- 全ての加盟連盟に以下のことを要請する
 - 若者の安全と精神的な幸福、そして彼らの成長がスカウトの使命の中心であることを認識し、最優先事項として「セーフ・フロム・ハーム」の問題に取り組む
 - 第43回世界スカウト会議までに、世界スカウトが提供する強化されたサポートを最大限に活用して、「世界セーフ・フロム・ハーム方針」の遵守を達成することを確約する
 - 「セーフ・フロム・ハーム」がすべての業務分野、特に全加盟員の教育、ガバナンス、コミュニケーションに横断的に組み込まれていることを確認する
 - 若者と成人の安全を守り、虐待の可能性のある事例を報告する権利と義務についての意識を高める

2021-05 青少年の関与戦略

世界スカウト会議は、

- 青少年の関与は、スカウトの中核的な教育方法の構成要素であり、スカウト運動の優れたガバナンスに不可欠な要素であることを認識する
- 教育的、制度的、そして地域社会における青少年の関与を強化するためのあらゆるレベルでの方向性を示す世界スカウト青少年参画方針を参照する
- 包括的な意思決定への青年の参画、および世界スカウト会議への代表団への若者の参加に関連するいくつかの会議決議（最近では**2017-07**）を確認する
- この3か年に「世界スカウト委員会の規模と効果」および「世界スカウト青少年フォーラムと世界スカウト会議の進化」に関する2つのタスクフォースが実施した協議に留意する
- 報告書に記載されている「青年の参画戦略**2011-2020**」の実施により達成された進捗状況を認識する
- ・ 会議資料10に記載されている「青年の関与戦略」の主な目標と主な目的を承認する
- ・ 世界スカウト委員会に対して次のことを要請する
 - スカウト運動のすべてのレベルの青少年だけでなく、すべての新規および現在のボランティアやスタッフを対象に、青少年の有意義なリーダーシップと関与に関する、導入・オリエンテーションサイクルに含まれる包括的なトレーニングの枠組みを実施する
 - スカウト運動全体およびスカウトのあらゆる側面（隊、組織、地域社会レベル）において、若者のための「青年の関与戦略」をさらに発展させる
 - 2021年から2024年までの3年間、世界スカウト青少年参画方針を見直し、青年の関与戦略の策定との整合性を確保する
 - 全体的な市民教育の一環として若者の関与を保証するために必要な計画、ツール、手段を確立するために、正式な作業構造を通じて加盟連盟とパートナーを結びつける
 - 今後の3年間計画の方向性を示すために、青年の関与戦略を次のスカウト戦略に合わせる

2021-06 世界スカウトユースフォーラムと世界スカウト会議の進化

世界スカウト会議は、

- 世界スカウト会議でより包括的な方法を求めた会議決議**1990-24**、**1993-24**、**2005-12**、**2017-07**に留意する
- 包括的な意思決定への青年の参画および世界スカウト会議への代表団への若者の参加に関連するいくつかの会議決議（直近では**2017-07**）を再確認する
- **WOSM**の意思決定プロセスにおけるユースアドバイザー・システムと世界スカウトユースフォーラムの過渡的かつ暫定的な性質を強調したいくつかの会議決議（最近では**2008-14**と**2017-07**）を再確認する
- 透明性、包括性、善行事例の共有という価値観を支持し、強化するための今回の世界スカウト会議のプログラムと構造の革新を含め、**WOSM**の意思決定プロセスへの若者の参加をより確実にするために達成された進歩を認識する
- スカウト運動は、参加者の多様性がその教育的目的に合致するような運動を目指しており、その目的を達成するためには一時的で適切な措置が必要となる場合があることを認める
- 会議資料**11**で提示された提案を作成するために行われた広範な国際的協議を認識する
- ・ 青少年の意思決定への参加に明確に焦点を当てた革新的な方法を用いて、より包括的で多様性に富み、魅力的な世界スカウト会議を実現するため、会議資料11に記載された「新しいイベント」の提案と原則を採択する
- ・ 世界スカウト委員会に対して次のことを要求する
 - 各代表団における定義された年齢以下の参加者の一過性かつ現実的な割合を定義することにより、「新しいイベント」への若者の参加を確保し、この措置は3年ごとに再評価され、会議で全体的に議論される
 - これらの原則は、2024年に「新しいイベント」を実現するための基礎として使用され、現在の世界スカウトユースフォーラムの形式を変革し、世界スカウト会議での能力強化体験と統合することを保証する
 - 青少年が効果的かつ意味のある関与をし、ガバナンスプロセスにおいて若者の代表性を高めるための十分なメカニズムとスペースを保証すること、また、「新しいイベント」のリーダーシップ、プログラムの企画、実施、評価、教育的要素において、世代間交流を保証する
 - 代表団の総合力で会議の議論と意思決定を充実するために、代表団とオブザーバーの両方が会議の前、最中、後に同じ経験をするのを確実にする
 - 「新しいイベント」への若者の参加を確実にするために、若者の登録料を下げることを検討する
 - ガバナンス機能において、「新しいイベント」における若者のスペースの拡大と保護のための実践を継続的に改善するために、これらの措置の質、効果、影響を監視、評価する
- ・ 世界スカウト委員会は、「新しいイベント」を可能にするために、世界スカウト会議の形式、組織、作業方法に関する会議決議1999-08を解除する

2021-07 ユースアドバイザー制度と青少年の意思決定への参画

世界スカウト会議は、

- **WOSM**の意思決定プロセスにおける世界スカウトユースフォーラムおよび世界ユースアドバイザー制度の過渡的かつ暫定的な性質を強調した会議決議（直近では**2008-14**および**2017-07**）を想起する
- 過去数十年にわたる青年の意思決定への参画の進展、特に会議資料**10**で説明されているように、過渡的措置としての世界ユースアドバイザー制度の成功、そしてこの移行措置を締結するための青少年の意思決定への参画の進展を加速させるスカウト運動の準備に勇気づけられる
- 会議決議**2017-11**を検討し、最も効果的な世界スカウト委員会を設置する必要性を表明し、可能な限り最も質の高い方法で責任を果たすために、その多様性の重要性を強調する
- 若者の意思決定への参画を継続的に強化し、過去の進展が失われないようにするためには、さらなる努力が必要であることを認識する

- 世界スカウト委員会が、世界スカウト委員会およびその下部組織のメンバーへの青少年の参加を確保し、さらに強化することを目的として、会議資料10で詳しく説明されているように、2021年から2024年の3年間の終わりに世界ユースアドバイザー制度を廃止する意図があることに留意する
- COVID-19とデジタル形式が、スカウト運動内の主要な変更に関する詳細な議論を検討し、促進することができるように加盟連盟に課した困難を理解する
- ・地域レベルでの既存の暫定的なユースアドバイザー制度は、その目標が達成されるまで継続することを奨励する
- ・加盟連盟に対して次のことを要請する
 - 世界および地域のスカウト委員会の候補者を指名する唯一の組織として、青少年の参画に対する彼らの重要な責任を認識する
 - 世界および地域のスカウト委員会で活躍できる適切な若者を積極的に見つけ、推薦し、支援する
 - 青少年の関与戦略の一環として開発されたトレーニングとガイダンスに沿って、これらの若者の継続的な成長と発展を支援する
 - 組織のすべてのレベルで意思決定に有意義な青少年の関与を確実にするために行動を起こす
 - 世界スカウト会議の代表団に若者を積極的に参加させる
- ・世界スカウト委員会に対し、世界スカウト委員会における意思決定への青少年の参画を強化するため、以下の措置を適用するよう要請する
 - すべての常任委員会および運営フレームワークに引き続き30歳未満の若者を含めること
 - 国内、地域、世界の各組織でリーダーシップを発揮したいと考えている30歳未満の若者へのトレーニングの提供を支援すること
- ・さらに、世界スカウト委員会に以下を要請する
 - WOSMの意思決定プロセスへの青少年の有意義な参加を阻む制度的、構造的、文化的な障壁と、これらの障壁を克服するための機会と提言を明らかにする報告書を提示すること
 - 現行のユースアドバイザー制度に代わる代替措置の可能性を提案し、世界スカウト委員会における青少年の代表性と効果的で意味のある参加を確保すること
 - 他の利害関係者の中でも、加盟連盟、若い会員、青少年の参加に関する専門家、元ユースアドバイザーと協議すること
 - 2023年10月末までに結論を加盟連盟に提出し、加盟連盟が組織や規約の変更を検討するのに十分な時間を確保すること
- ・世界スカウト委員会に対し、意思決定における青少年の参画の状況を監視し、その結果が満足のいくものでない場合には、会議資料10の3.3項に記載されている通り、さらなる措置を講じるよう要請する

2021-08 WOSM の環境持続性の強化

世界スカウト会議は、

- 17の持続可能な開発目標（SDGs）とその93の環境関連指標に基づいて行動を起こすことにより、WOSMの取り組みと、環境を保護するための世界的な青少年運動としての協調行動の緊急の必要性を再確認する
- 会議決議2005-20、2008-25、2017-10を承認し、環境教育の強化、持続可能なスカウトイベントの開催、そのような持続可能性対策に関するイベント主催者へのサポートとガイダンスの提供、WOSMの環境への影響と二酸化炭素排出量の調査を要求する
- WOSM環境影響報告書の調査結果と提言を認める
- 国連の気候変動に関する政府間パネルの第6次評価報告書に示された緊急行動の必要性を認識する
- 「アーストライブ」主導の立ち上げによる環境教育への教育的関心の高まりを歓迎する
- 環境の持続可能性に取り組む世界中のメ加盟連盟の貴重で継続的な努力を認める
- WOSMは、気候変動の影響を緩和するために、会員を積極的な市民として活動させることが緊急の課題であることを確認し、気候変動の影響と戦う世界的な青少年の運動としてリードする
- ・加盟連盟に対して次のことを要請する
 - 「アーストライブ」やその他の世界的そして国内的な取り組みを利用して、環境教育が国家青少年プログラムに統合されるようにする
 - イベントや会議をより環境に配慮したものにするためのツールとして、持続可能なイベントを開催するためのWOSMガイドラインを遵守する
 - パートナリシップを構築して、環境の持続可能性に対する国の教育的および制度的アプローチを強化する
- ・世界スカウト委員会と世界スカウト事務局に対して次のことを要請する
 - 気候危機に立ち向かうためのロールモデルとなる
 - 世界のスカウト運動の環境に関する内容とプログラムが推進され、実施され、継続的に改善されていることを確認する
 - 持続可能性に関する新たな取り組みや方針、教育方法を策定・検討する際には、学識経験者や環境問題の専門家に相談する（例：アーストライブの取り組み）
 - 世界のスカウト運動の活動による環境への影響を監視するシステムを構築し、加盟連盟が世界レベルの意思決定に積極的に関与できるような戦略的情報を提供するための報告メカニズムを確実に構築する
 - 遅くとも2033年の第46回世界スカウト会議までにWOSMの事業の気候中立性を達成するために環境持続性の実践を大幅に強化することを目的に、会議資料12に概説されているように、明確で共有された行動計画と測定可能な目標を備えたWOSMの気候影響戦略を次の3年間で策定する
 - すべてのWOSMイベントに対し環境維持基準を作成する
 - スカウト運動の次期戦略を策定する際に、SDGsに記載されている環境の持続可能性を重要な枠組みとして設定し、保全活動を強化することで、地域社会が気候災害からの回復力を高め、環境への影響を補うことができることを認識する
 - 既存の枠組みやメカニズム（GSAT、イベントガイドライン、SCENES認定など）を強化し、環境維持がスカウト運動全体で主流になるようにする
 - 世界および地域のスカウトイベントのホスト国連盟を支援して、環境的に持続可能なイベントの組織を強化し、持続可能なイベントを組織するためのWOSMガイドラインを各国の状況に留意しながら、世界

スカウト行事の招致国連盟のためのガイドラインの不可欠な部分にする

- 世界スカウト行事の招致国連盟がより高い環境基準に準拠していることを示すオプションのラベルを作成し、気候に対する強い取り組みを促進する
- スカウティングの次の戦略を策定する際には、環境の持続可能性に重点を置き、気候の中立性を追求する
- WOSMサービスを通じた専用のオンライントレーニングやその他のリソースを開発し、加盟連盟の自然災害に対応した国家行動対応計画や長期プロジェクトの策定に注力する
- 世界および地域の既存の組織的な協力関係を強化し、外部パートナーとの新たな協力関係を構築することで、気候変動を効果的に改善する上での相乗効果を確保し、気候保護および人道的対応の方針を改善する
- 加盟連盟が責任ある行動者となり、気候変動の影響を緩和するための地域活動を率先して行い、自然災害への対応に積極的に取り組むことを支援する

2021-09 現代におけるスカウトイベント

世界スカウト会議は、

- 過去、現在、未来の世界または地域のスカウトイベントを主催する加盟連盟の献身的な努力に感謝する
- 現代世界でスカウトイベントを開催することの複雑な性質に留意する
- 世界および地域のスカウトイベントの規模が拡大していることを認識する
- スカウトイベントへの参加費用が増大していることをさらに認識する
- ホスト国連盟と参加国連盟の両方が、スカウトイベントを開催または参加する際に直面する多面的なリスクをさらに認識する
- COVID-19パンデミックによって引き起こされた海外旅行への継続的な制約を懸念する
- さらに、COVID-19後の時代にイベント主催者が遭遇するであろう公的監視の予想される増加に留意する
- 将来の地域的または世界的な混乱に対する必要な準備をしておく
- 前述の混乱に関連して、スカウトイベントを開催する際のリスクを共有する必要性を強調する
- 世界スカウト委員会に対して次のことを要請する
 - スカウトイベントの主催者に対し、延期や中止など、スカウトイベントの準備に予期せぬ重大な支障が生じた場合に、どのように行動すべきかのガイダンスを提供する
 - ホスト国連盟および参加国連盟の両方の財務的安定性を確保することを目的として、このような混乱を管理・緩和するための推奨ツール（技術、財務、法律、組織など）を準備する
 - 公衆衛生への新たな世界的焦点を視野に入れて、次の10年に向けてスカウトイベントをさらに準備することを目指す
 - ホスト国連盟と参加国連盟の間で、財政的なリスクやその他のリスクを公平に共有する方法を検討する

2021-10 平和のリーダーシップ

世界スカウト会議は、

- 世界をリードする青少年教育運動としての責任を通じて、スカウト運動が平和を約束することを再確認する
- 会議決議 1988-08、2005-23、2008-28、2011-16、2014-12、2014-13、2017-08 を想起し、特に会議決議 2011-16 「対外関係における青少年の平和と安全」が「若者と平和と安全に関する国連安全保障理事会決議 2250」の発展の重要な基盤となった歴史的影響を認識する
- 国際連合安全保障理事会決議1325とそれに続く「女性と平和と安全」に関する決議、ならびに「若者と平和と安全」に関する2250、2419、2535を了承する
- 進捗調査「消えた平和」の提言が、国連の「若者、平和と安全保障」アジェンダを実施するための有用なガイドラインであることを認め、平和とは包括的な社会を構築する継続的なプロセスであり、不断の努力と注意が必要であること、スカウト運動は若者を地域社会の平和構築者として強化する上で重要な役割を果たしていることを強調する
- 国連の「若者・平和・安全保障アジェンダ」に掲げられた目標への全面的な支持を表明する
- 世界スカウト委員会に対し、国連の青年、平和および安全保障アジェンダの実施におけるスカウトの役割を次のように推進するよう要請する
 - 加盟連盟に対し、「国連青少年・平和・安全保障アジェンダ」に関連する取り組みを特定し、強化するためのガイダンスを提供する
 - 世界のスカウト運動の平和教育プログラムが、包括的で平和な地域社会の創造に貢献する若者の能力に与える影響を評価する
 - 学界、非政府組織、政府間機関とのパートナーシップを確立することで、平和に関するスカウト運動の貢献と影響をさらに理解する
 - 平和と青少年の社会参加の擁護者としてのスカウト運動の役割を強化するために、パートナーと協力して、または独自に国連の「青少年、平和、安全保障」アジェンダの関連部分を地域や国のレベルで実施するためのツールを開発する
 - 平和構築におけるスカウトの役割を強化するため、世界スカウトイベントの開催を検討する
 - 渉外活動を通じて、「青年、平和、安全」に関する政策プロセスに積極的に関与する
- 加盟連盟に対し、国レベルでの「国連青少年・平和・安全保障アジェンダ」の策定や、平和で包括的な社会へのスカウトの貢献を紹介する上で、積極的な役割を果たすことを強く要請する
- 加盟連盟に対し、平和教材（「平和のための対話」と「暴力的過激主義の防止」を含む）を実施することにより、教育プログラムと活動における平和への権利の側面を強化するよう奨励する

以 上

14. 第27回アジア太平洋地域（APR）スカウト会議

第27回APRスカウト会議概要報告

会議名：第27回アジア太平洋地域（APR）スカウト会議

主催：世界スカウト機構アジア太平洋地域（APR）

期間：2022年2月15日（火）～2月21日（月） ＊2月17日・20日を除く5日間

場所：オンライン開催

＊当初、2021年9月に台湾で開催が予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、APR各国スカウト連盟による電子投票で2022年2月の開催に延期された。その後、新型コロナウイルスの影響が収まらないことから、台湾連盟からの申し出により、オンラインでの開催に変更された。

テーマ：Adapting to a Changing World（変化する世界への適応）

参加費：無料

日本代表団：代表6人、オブザーバー11人、職を持って参加した者3人、合計20人

＜代表6人＞

1. 水野 正人 日本連盟理事長（首席代表）
2. 福嶋 正己 日本連盟コミッショナー
3. 出田 行徳 常務理事
4. 中野 まり 国際副コミッショナー
（嶋田国際コミッショナー・松平国際副コミッショナーはAPRの立場で参加）
5. 小林 千乃 青年代表（第10回APRスカウトフォーラム日本代表団代表）
6. 大久保秀人 事務局長

＜オブザーバー最大14人＞

7. 佐野 友保 専務理事
8. 膳師 功 常務理事
9. 笹渕 真子 理事・国際委員長
10. 片寄 明 千葉県連盟コミッショナー（次期APR Youth Engagement Sub-Com 候補者）
11. 小池さくら（第10回APRスカウトフォーラム日本代表団代表）
12. 北村 梨沙（第10回APRスカウトフォーラム日本代表団オブザーバー）
13. 大竹 晴登（第10回APRスカウトフォーラム日本代表団オブザーバー）
14. 吉村 敏 事務局次長
15. 佐藤 栄保 事務局次付
16. 吉田 克己 事務局コミッショナー・国際担当
17. 大高 駿 事務局国際業務他担当

＜APRの職をもって参加した者＞

18. 嶋田 寛 APRスカウト委員会第一副委員長
 19. 松平 頼昌 APRコミュニケーション・パートナーシップ小委員会委員長
 20. 村山 正 APR財団運営委員
- この他、鈴木令子 相談役がAPR表彰委員として表彰式等に出席した

日程表：

第27回APRスカウト会議 27th ASIA-PACIFIC REGIONAL SCOUT CONFERENCE 2022年2月15日～21日 15-21 February 2022 会議日程・プログラム CONFERENCE PROGRAM

日本時間 TIME	2月15日（火） 15 February Tuesday	2月16日（水） 16 February Wednesday	2月17日 17 Feb. Thursday	2月18日（金） 18 February Friday	2月19日（土） 19 February Saturday	2月20日 20 Feb. Sunday	2月21日（月） 21 February Monday
13:00H to 14:30H	・ 各国連盟首席代表とAPR スカウト委員の会議 APRSC meeting with Heads of Delegates	➢ 能力構築 Capacity Building (inputs) ・ WOSMデータ・ポータル ・ セーブ・フロンティア・ホーム ・ WOSMサービス ・ APRスカウトバザール	会議 B R E A K	各国スカウト連盟の プレゼンテーション （複数国連盟の成功事例）	新APRスカウト委員会の第1回 公式会合 （新APR小委員会委員の任命） 各国スカウト連盟の プレゼンテーション （複数国連盟の成功事例）	会議 B R E A K	➢ 新任APR小委員会会合 ➢ 会議決議のプレゼン テーションと協議
14:30H-15:00H	休憩 Break	休憩 Break		休憩 Break	休憩 Break		休憩 Break
15:00H to 16:30H	➢ 開会式 Opening Ceremony ・ Intro of NSO's and Guests ・ Virtual Photo session ➢ 全体会 Preliminary Session ・ APR小委員会委員長の挨拶 ・ 会議規則の手続き	➢ 世界スカウト機構事務局長挨拶 ➢ 世界スカウト委員長挨拶 ➢ APRスカウト財団会長報告 ➢ 10APRスカウトフォーラム報告 ➢ APR CLT報告 ➢ APRスカウト委員選挙		➢ 新任APRスカウト委員会誕生 ➢ パートナー組織の プレゼンテーション ・ Duke of Edinburgh ・ Eric Frank ・ HOT- AP ・ KISC ・ Suncheon ・ WAGGGS ・ WSF	➢ 今後の地域スカウト行事の プレゼンテーション ・ 28th APR Scout Conference ➢ 今後の地域スカウト行事政策 ➢ 今後の地域・世界行事プレゼン テーション ・ 32nd APR Scout Jamboree, Bangladesh, 2022 ・ 33rd APR Scout Jamboree, Korea, 2025 ・ 25th World Scout Jamboree, Korea, 2023 ・ 17th World Scout Moot, Portugal, 2025 ・ 43rd World Scout Conference, Egypt, 2024		➢ 新APRスカウト委員会 委員長のチャレンジ ➢ 会議決議の採択
16:30H-16:45H	休憩 Break	休憩 Break		休憩 Break	休憩 Break		休憩 Break
16:45H to 17:45H	・ 会議任命 ・ APR小委員会候補者紹介 ➢ 基調演説 ➢ APR小委員会委員長報告	➢ アクションタイム プレゼンテーション ・ COVID-19サービス活動 ・ 成長を続けるスカウト活動： 人材確保と採用のベスト・プラ クティス ・ GSAT ・ WOSMサービス ・ 事業開発とパートナーシップ		➢ 分科会 Breakout Groups ・ APR Plan ・ Growing our movement in the post-pandemic world ・ Building Financial Capability ・ GSAT - bring your NSO to world class standards ・ Sustainability (taskforce work) ・ Youth Engagement in decision making (taskforce work) ・ Reaching out ・ Advocacy for growth, positioning and influence ・ Safe from Harm compliance	➢ 今後の地域スカウト行事政策 結果発表 ➢ 新任APR小委員会の アナウンス ➢ 会議決議のプレゼンテーション		➢ 特別表彰 Special Recognition Ceremony ➢ 会議閉会
17:45-18:00H	休憩 Break	休憩 Break		休憩 Break	休憩 Break		休憩 Break
18:00H to 19:00H	➢ APR事務局長3年間報告 ➢ APR小委員会報告	➢ APRスカウト委員の選挙結果発表		➢ 国際コミッショナー会合 ➢ グローブコミッショナー会合 ➢ Global Sc Com. Network ➢ APR Palaver	➢ ATAS会合 ➢ APES会合		➢ 閉会式 Closing Ceremony
19:00H-19:30H	休憩 Break	休憩 Break		休憩 Break	休憩 Break		休憩 Break
19:30H 20:30H		➢ APRスカウト財団 フェローシップ集会					➢ 国際の夕 Cultural/International Evening
21:00H 22:30H							

主要日程： 2月15日（火） 各国連盟首席代表会議・開会式・
2月16日（水） 全体会議・APR委員選挙・APRスカウト財団会合
2月18日（金） 分科会・パートナー組織等の説明・国際・チーフコミッショナー会合
2月19日（土） 全体会議、次回会議選挙、今後の行事
2月21日（月） 会議決議・表彰式・閉会式

参加者数： APR内30の国と地域の連盟から550人以上
国名の次の（ ）内は代表の人数・オブザーバー人数は除く

アフガニスタン(6)、オーストラリア(6)、バングラデシュ(6)、ブータン(6)、ブルネイダルサラム(6)、
カンボジア(5)、台湾(5)、フィジー(4)、香港(6)、インド(5)、インドネシア(6)、日本(6)、キリバス(6)、韓国(6)、
マカオ(6)、マレーシア(6)、モルジブ(6)、モンゴル(6)、ミャンマー(6)、ネパール(6)、ニュージーランド(6)、
パキスタン(6)、パプアニューギニア(6)、フィリピン(6)、シンガポール(6)、ソロモン諸島(6)、スリランカ(5)、
タイ(5)、東ティモール(6)、ベトナム(6)

日本代表団の準備：

会議に先立ち、2月2日（水）に日本代表団の打ち合わせをオンラインで行い、各決議案への賛否、APRスカウト委員選挙等について、対応を検討した。

会議参加者全員にWOSMセーフ・フロム・ハームのeラーニングを事前に2コース履修することが求められ、日本代表団は全員修了した。

会議期間中には、日本代表団の連絡用オンライン会議を設定し、投票にあたって水野首席代表より説明と確認があり、日本連盟としての対応を行った。

会議の概要と日本代表団の取り組み （記載の時間は日本時間）

1. 各国連盟首席代表会議

2月15日（火）13時から14時30分までの1時間30分、APRスカウト委員会と各国主席代表による会議が開催され、会議日程、議題等の確認が行われた。

日本連盟からは、水野理事長（首席代表）と事務局1人が出席した。また、主催者として嶋田APRスカウト委員会第一副委員長が出席した。

2. 開会式

2月15日（火）15時から16時まで、開会式が行われ、主催者としてのAPRスカウト委員会、各小委員会委員長、世界スカウト委員長と関係委員、WOSM事務総長と各地域事務局長、APRスタッフ、ゲストの紹介の後に、参加国連盟の紹介が行われた。出席者は、APR内の30の国と地域の連盟から550人以上とのアナウンスがあった。

3. 会議開催の手続き（準備セッション）

2月15日（火）16時から16時30分まで、準備セッションとして、物故者への黙祷、会議手続き規則の確認、会議関係者の任命APR委員候補者9人の紹介が行われた。

4. APR3年次報告

2月15日（火）16時30分から17時45分まで、2018年から2021年までの3カ年報告がAPRスカウト委員会のラスディ委員長、嶋田第一副委員長、ソンプーン第二副委員長より行われた。続いて、APR監事報告が行われた。

5. 各種報告・挨拶

2月16日（水）15時から16時05分まで、世界スカウト機構事務総長委、世界スカウト委員会委員長の報告があり、続いてAPRスカウト財団運営委員長の報告、第10回APRスカウトユースフォーラムとAPR・CLTの報告があった。

6. アクションタイム・プレゼンテーション

2月16日（水）16時45分から17時55分まで、コロナ禍におけるサービス、加盟員維持と募集拡大事例、GSAT、WOSMサービスに関するビデオによるプレゼンテーションが行われた。

7. APRスカウト委員半数改選

2月16日（水）16時05分から、任期を2022年から2028年までの6年間とする委員5人の選挙が行われた。立候補者は、ブータン、台湾、インド、インドネシア、韓国、マレーシア、モルジブ、モンゴル、ネパールからの9人で各国連盟の代表により電子投票が行われた。当初立候補していたシンガポールの候補者は選挙前に辞退した。選挙結果は、次の5人が新委員に決定した。

1. Mr Yung-Chin Yang - 台湾
2. Mr Brata Tryana Harjosubroto - インドネシア
3. Mr Simon Hang-Bock Rhee - 韓国
4. Mr Mohd Zin Bidin - マレーシア
5. Ms Aishath Ahlam - モルジブ

8. 新APRスカウト委員会の編成

委員改選に伴い新委員5人に2018年から2025年までの任期の委員5人、更にAPR・RYR代表1名を加え、11人で編成され、委員の互選で委員長、副委員長が選任された。（発表は2月18日）

<2022年～2025年 APRスカウト委員会>

委員長 Mr. Dale B. Corvera, Philippines（委員任期：2018-2024）
第一副委員長 Mr Simon Hang-Bock Rhee, Korea（委員任期：2022-2028）

第二副委員長	Dr. Somboon Bunyasiri Thailand (委員任期：2018-2024)
委員	Mr. Hiroshi Shimada, Japan (委員任期：2018-2024)
委員	Mr. Elston Hynd, Australia (委員任期：2018-2024)
委員	Mr. Mohammad Rafiqul Islam Khan, Bangladesh (委員任期：2018-2024)
委員	Mr Yung-Chin Yang, Taiwan (委員任期：2022-2028)
委員	Mr Brata Tryana Harjosubroto, Indonesia (委員任期：2022-2028)
委員	Mr Mohd Zin Bidin, Malaysia (委員任期：2022-2028)
委員	Ms Aishath Ahlam, Maldives (委員任期：2022-2028)

9. APR各小委員会等

新APRスカウト委員会による協議に基づき、各小委員会の委員長、副委員長、委員が発表された。日本からは次の4人が小委員会委員に選任された。(発表は2月19日)

ソーシャル・インパクト小委員会	委員長	松平 頼昌 (国際副コミッショナー)
ユース・エンゲージメント小委員会	委員	片寄 朗 (千葉県連盟コミッショナー)
エデュケーション・メソッド小委員会	委員	大久保秀人 (事務局長)
ガバナンス小委員会	委員	出田 行徳 (常務理事)

ダイバーシティ・インクルージョン小委員会、コミュニケーション&パートナーシップ小委員会には、日本連盟から委員候補者の推薦は行わなかった。

10. 分科会 (Break Out Groups)

2月18日(金) 16時45分から19時30分まで、次の11テーマ別に2枠の分科会が行われ、日本代表团は次のとおり参加した。(参加者名の敬称略)

- (1) APR計画 2022-2025 A (福島、大久保、大高)
- (2) APR計画 2022-2025 B (福島、大久保、大高)
- (3) 財務能力の構築 (吉村、吉田)
- (4) WOSMサービス (中野、松平、佐藤)
- (5) パンデミック後の世界における私たちの運動の拡大 (吉村、大竹、松平)
- (6) GSAT—あなたの国のスカウト連盟を世界標準に (出田、小池)
- (7) 持続可能性 (水野、北村、佐藤)
- (8) 意思決定への青年の関与 (片寄、小林、小池)
- (9) 手を差し伸べる (片寄、北村)
- (10) 加盟員拡大、位置づけ、影響力のアドボカシー (中野、小林、吉田)
- (11) セーフ・フロム・ハームの遵守 (水野、出田、大竹)

11. 他団体・関係組織の活動紹介

2月18日(金) 15時40分から16時30分まで、ビデオによりエジンバラ国際アワード、エリックフランク・トラスト、オープンマッピングハブ、KISC、スンチョンスカウトセンター、世界スカウト財団の活動紹介が行われた。

12. 各国スカウト連盟のベストプラクティス紹介

2月18日(金)と19日(土)の13時から各1時間、ビデオにより各国スカウト連盟の最良成功事例紹介が行われた。18日は、オーストラリア、バングラデシュ、台湾、香港、インド、19日にはインドネシア、日本、ニュージーランド、フィリピン、スリランカ、タイの順で各5分上映された。

日本連盟は、澤 社会連携・広報委員長による「ワクワク自然体験あそび」のビデオで紹介した。

13. 今後のAPRおよび世界行事の紹介

2月19日(土)に今後のAPRおよび世界行事のプレゼンテーションが行われた。

- 第32回APRスカウトジャンボリー (2022年バングラデシュ)
- 第25回世界スカウトジャンボリー (2023年韓国)
- 第43回世界スカウト会議 (2024年エジプト)
- 第17回世界スカウトムート (2025年ポルトガル)

14. 今後のAPR行事招致

2月19日(土)に今後のAPR行事招致として、2025年開催の第28回APRスカウト会議と関連行事のプレゼンテーションが行われた。当初は3カ国連盟が立候補していたが、今回の台湾で予定されていた会議と関連行事がオンラインに変更されたことを考慮し、2カ国が立候補を辞退し、台湾のみの立候補となり、信任投票の結果、台湾での開催が決定した。

<台湾連盟の提案>

- ① 第28回APRスカウト会議
提案期間 2025年10月27日～11月1日
- ② 第11回APRスカウトユースフォーラム
提案期間 2025年10月23日～26日
- ③ APRコースフォールーダートレーナー
提案期間 2025年10月20日～26日

15. APR規約改正

2月19日(土) 16時からAPR規約改正案の説明があり、APR各委員会への青年の関与と、YAMGがRYRに変更となったことに伴う改正が投票の結果承認された。

16. 会議決議

最終日の2月21日（月）に各国スカウト連盟とAPRスカウト委員会、APRフォーラム等から提出された決議案について決議起草委員により説明があり、各国連盟代表団による協議が行われた。

決議は、今回の会議開催・運営への協力者に対する「感謝決議」、および「実務決議」が採択された。（次項を参照）

17. 表彰式

最終日の2月21日（月）にAPR表彰の表彰式が行われ、日本連盟は次の4人が受章した。

APR特別功労章(APR Award for Distinguished Service)

中野まり 国際副コミッショナー

（元世界スカウト委員、WOSMコンサルタント、世界名誉表彰委員会委員長）

APR委員長章(APR Chairman's Award)

松平頼昌 国際副コミッショナー

（APRコミュニケーション・パートナーシップ小委員会委員長）

APR功労表彰(APR Certificate of Good Service)

近藤明彦 元APRスカウティングプロフィール小委員会委員、マネージメント小委員会委員

片寄 朗 元APRアダルトインスカウティング小委員会委員

18. 閉会式

2月21日（土）19時30分から、APRスカウト委員会の新旧委員長の挨拶、APR地域事務局長の挨拶で閉会した。

19. 会議期間中の諸行事（全てオンライン開催）

会議期間中に次の会合が19時30分から開催され、日本代表団からは関係者が出席した。

(1) APRスカウト財団ギャザリング 2月16日（APR財団会員）

(2) 国際コミッショナー会合 2月18日（嶋田国際コミッショナー）

(3) チーフコミッショナー会合 2月18日（福岡日本連盟コミッショナー）

(4) APRパラバー 2月18日（中野国際副コミッショナー）

(5) ATAS会合

(6) APES会合

20. 会議前に開催された関連行事への参加（全てオンライン開催）

(1) 第5回APR各国スカウト連盟事務局長会議

1月23日（日）から1月24日（月）まで、APR委員会の運営により、APR各国スカウト連盟事務局長会議が20スカウト連盟の事務局長が参加して開催され、日本連盟からは大久保事務局長が参加した。会議では、加盟員拡大、教育手法、コミュニケーションとパートナーシップ、WOSMサービス、APR新3カ年計画等に関する情報共有と意見交換が行われた。

(2) APRコース・フォー・リーダートレーナー（CLT）

2月4日（金）から2月13日（日）まで（2月7日・11日を除く）8日間開催され、日本連盟からは大久保事務局長がAPRアダルトインスカウティング小委員会委員としてスタッフで参加した。

(3) 第10回APRスカウトユースフォーラム

2月9日（水）から2月13日（日）まで（2月11日を除く）4日間開催され、APR内25スカウト連盟から186人（代表50人、オブザーバー136人）が参加し、日本連盟からは今回の会議に参加した4人の青年参加者が代表（小林・小池）とオブザーバー（大竹・北村）として参加した。

21. その他

(1) 世界スカウト委員との会合

会議初日の2月15日（火）19時30分から約1時間、世界スカウト委員と日本代表団との会合が行われ、水野首席代表から新型コロナウイルス感染拡大の中での対応、ワクワク自然体験あそび、セーフ・フロム・ハーム、日本連盟100周年等について説明を行った。

以 上

第27回APRスカウト会議 決議文（2022.3.02.現在仮訳）

01/22 感謝決議

2022年2月15日から21日にフィリピンのリサールからオンラインで開催された第27回APRスカウト会議の成功は、以下の方々の貴重な貢献と支援によるものであり、感謝とお礼を申し上げる。

1.1/22 APRスカウト委員会、およびその議長H.E. アーマド・ラスディを始め退任する5人のメンバーは、会議のセッションとイベントの設計、企画、運営において指導を行った。

1. 2/22 会議セッションに積極的に参加し、ベストプラクティスやアクションタイムのプレゼンテーションを共有し、分科会に参加し、会議の集会で親善と友好の精神を共有した代表団とオブザーバーの方々。
1. 3/22 「第10回APRユースフォーラム」（バーチャル）のオープンな意見交換と実りある議論を行った企画チーム、オーガナイザー、リソースパーソン、参加者の皆さん。
1. 4/22 「コース・フォー・リーダートレーナー」（バーチャル）の企画チーム、主催者、リソースパーソン、参加者、研修チーム、スタッフ、セッションの成功に向けた献身的な支援とサービス。
1. 5/22 APR各小委員会は、3年間に提示されたタスクの達成に時間、専門知識、およびリソースを費やしてくれたこと。
1. 6/22 Andy Chapman 氏率いる世界スカウト委員会は、世界のスカウト運動のビジョン、価値観、団結を強化する刺激的なメッセージを発信してくれた。
1. 7/22 WOSM事務総長 Ahmad Alhendawi 氏、世界スカウト事務局グローバルサポートセンターと全地域のサポートセンターのスタッフ、会議の前後での様々な打合せでの指導、積極的な参加、貢献してくれた。
1. 8/22 J. Rizal C Pangilinan APR事務局長、および世界スカウト事務局APRサポートセンターのスタッフの会議の準備、調整、運営における努力、献身、熱意。
1. 9/22 私たちのパートナー団体とゲスト、エジンバラ公国際アワード、エリック・フランク・トラスト、オープンマップ・ハブ - アジア・パシフィック、カンダッシュテーク国際スカウトセンター、スンチョンAPRスカウトセンター、世界スカウト財団。
1. 10/22 小委員会審査委員会、決議委員会、選挙立会人など、本大会の任命権者は、大会決議を通じ、システムを整備し、新しい3年間に有望なことを確認すべく、特別な時間と労力を注いでくれた。2022-2025年の小委員会審査委員会には、地域別小委員会におけるバランスの取れたメンバー構成を確保するために、たゆまぬ努力を続けていただき、特に感謝申し上げます。
1. 11/22 会議の流れや進行を指導した会議役員、司会者、議長には、貴重な才能、時間、熱意、エネルギーを発揮していただき、会議のバーチャルへの移行と配信をさらに魅力的で若者に適したものにするのができた。
1. 12/22 国際コミッショナー会合、チーフコミッショナー会合、APR座談会、世界スカウト・コミュニケーション・ネットワーク、APRスカウト財団会合、文化・国際のタベ、ATAS会合、APES会合の主催者及び参加者の方々。
1. 13/22 「セーフ・フロム・ハーム」ボランティアは、世界中の若者のためにスカウトを安全に保つための包括的なプレゼンテーションを行い、セッション中にオンラインチャットで代表やオブザーバーから寄せられたすべての質問に辛抱強く答えてくれた。
1. 14/22 フィリピン連盟理事、連盟スタッフ、連盟スカウト、ボランティアの方々には、大会期間中、計り知れないほどのご支援、積極的なご協力、ご出席をいただいた。
1. 15/22 制作チームには、時間、労力、専門知識、スキルを駆使してコーディネートしていただいた。音声、映像、ライブストリーミングなど、様々な面でサポートさせていただいた。FacebookやYouTube、現場でのプレゼンテーション、ズームアップなどをシームレスに行うことができた。彼らの存在により、このバーチャル会議は、世界中のスカウトに届くようになった。
1. 16/22 The JM's Placeのスタッフは、美味しい食事、完璧な設備を準備し、組織チーム、サポートスタッフ、制作チームの滞在を快適なものにしてくれた。

実 務 決 議

02/22 各国連盟の青少年の関与に関する方針の開発、見直し、改良に関する支援

スカウト会議は、

- 青少年の関与を教育方法の中核的構成要素として認識し、
- 青少年の関与の効果的な実施の方向性を示す「青少年の関与に関する世界戦略」と「青少年の参画に関する世界方針」を参照し、
- すべての年齢層と意思決定機関に対する明確な組織、ツール、プロセス、目的、および指標を含む青少年参加に関する各国連盟方針の数を増やすこと。

・APRスカウト委員会は、各国連盟が青少年加盟員のニーズに対応できるような各国連盟青少年の関与に関する戦略を地域化、開発、あるいは適切な場合には見直し、改良することへの支援を要請する。

・前述の「各国連盟の青少年の関与に関する戦略」は以下のようなものであることを推奨する。

1. 「各国連盟の青少年プログラム方針」、「各国連盟のスカウティングにおける成人に関する方針」および、各国連盟の委員会およびガバナンス組織の職務権限/規程上の要件と密接に関連させ；
2. 「青少年の参画に関する世界方針」と「青少年の関与に関する世界戦略」を参考に、各年齢層での「青少年の参画」「青少年の参加」「青少年の能力強化」の概念を定義し、詳細に明文化し；
3. 隊、地区、地域、国連盟レベルにおいて、あらゆる年齢の若者のための学習の機会を特定し；

4. 青少年の貢献と成果を認め：
5. 委員会や統治機関を含む意思決定機関において、若者の代表を増やし：そして、
6. 少なくとも2年に1度は実施の監視と評価をすること。

これは、2022-2025 年の3カ年の終わりまでに実施する必要がある。

03/22 各国連盟の重要な意思決定機関に関わる若年成人代表の確保

スカウト会議は、

- 世代間の協力と、意思決定への有意義な青少年の参加の重要性を認識し、
- スカウティングのあらゆるレベルの意思決定機関に、より多くの若者を参加させることにより、若者の参画を増やすという目標を強調した「青少年の関与に関する世界戦略」を認識し、
- 地域の青少年の関与に関する目標を青少年の関与に関する世界戦略と一致させることの重要性を信じ、
- 意思決定への青少年の関与を促進し続けるため、組織的な後押しが必要であることを認識し、
- APR計画 2018-2021 において、各国連盟組織、教育法委員会や青少年プログラム委員会の意思決定プロセスに30歳未満の青少年を参加させることを再確認すること。

- ・世界スカウト機構の主要目標 3.4 「WOSMと運営構成加盟国連盟、地域、世界レベルの主要な意思決定組織に少なくとも40%の青少年代表を確保するための基準を高め、彼らの完全な参画を支援する」にある「青少年の関与に関する戦略」の文章を採用し、
- ・APRスカウト委員会は、青少年層が意思決定プロセスに積極的に参加できるよう、各国連盟の意思決定組織の40%または最低2名のメンバーが30歳未満であることを保証するよう各国連盟を支援することを要請する。また、そのようなグループの全メンバーは、平等に投票権と意思決定権を持つことが望ましい。
- ・APRサポートセンターとAPRスカウト委員会からの支援は、この目標に向かって前進する準備がAPR各国連盟で様々なため、世代間対話トレーニング、ワークショップ、成功事例共有セッション、セミナーなどを開催することを推奨する。

これは、2022-2025 年の3カ年の終わりまでに実施する必要がある。

04/22 APRにおける環境・社会・経済の持続可能性の促進に関する施策

スカウト会議は、

- 第42回世界スカウト会議決議第 2021-08 号に、「世界スカウト委員会と世界スカウト事務局に対し、次期スカウト戦略策定時にSDGsで示された環境の持続可能性を重要な構成要素として設定し、スカウティングの次期戦略開発の際、自然保護活動を強化することで、地域社会が気候災害からより強くなり、私たちが環境に与える影響を補うことができる」ことを含んでいることを認識し、
- 第42回世界スカウト会議決議第 2021-08 号「スカウト会議は、加盟団体に対し、アーストライブおよびその他の世界的および各国連盟主導の環境保護教育を、各国連盟のプログラムに一層統合されるよう要請する。」が含まれることを確認し、

- ・APRスカウト委員会に対し、APR計画 2022-2025 に示された「目標」等を通じて、SDGsに示される環境持続性、社会・経済問題への取り組みを重要な枠組みとして継続するよう要請し、
- ・APRスカウト委員会に対し、「メッセンジャー・オブ・ピース」や「スカウティング・フォー・SDGs」といった取り組みを通じ、国レベルでの自然保護活動の強化を支援するよう要請し、
- ・APRスカウト委員会に対し、地球温暖化や気候変動と戦うために「アーストライブ」の活動やその他の環境教育プログラムを地域に根付かせることを強く要請し、
- ・APRサポートセンターが、WOSMを通じ各国連盟が「アーストライブ」主導や各国連盟環境プログラムを取り入れ、ローカライズするよう支援サービスの提供を要請する。

05/22 「地域と各国連盟における有意義な青少年参加への障壁の特定に関する報告書」の作成

スカウト会議は、

- 第42回世界スカウト会議決議第 2021-07 号「ユース・アドバイザー制度と青少年の意思決定への参画」と題する決議を想起し、
- 「青少年の関与に関する世界戦略」の項目 5.1.2 と 5.3.1 には、次のように記載されていることを認識する。
“5.1.2 スカウト方式とユース・エンゲージメントの全要素の適用を強化するため、各国連盟青少年プログラムの内容の見直しと設計を支援し”
“5.3.1 スカウト運動内およびスカウト活動外の意思決定における青少年の関与の増加への潜在的な貢献を強化する目的で、あらゆるレベルの既存の組織、構造、仕組みなどのすべてを見直し、”
- 地域における青少年の関与のさらなる必要性を認識し、

- ・APRスカウト委員会とAPRサポートセンターに対し、APRの加盟各国を対象とした調査を実施し、各国連盟内で世代間の対話と議論を行い、青少年参加に対する制度的、構造的、文化的障壁とその解決策を調査することを要請し：
- ・APRスカウト委員会に対し、地域レベルおよび国家レベルで若者の参加を促進するために利用可能な機会を特定し、報告書の調査結果に基づいて有意義な若者の参加を増やすためにこれらのレベルで起こすことができる行動を推奨するよう要請し：
- ・APRスカウト委員会に対し、APRの加盟各国が若者の能力強化と意思決定への参画のために適用可能な実践的モデルやガイドラインを提言するよう要請し：
- ・APRスカウト委員会に対し、各国連盟内で行われた調査や議論の結果をまとめた報告書を作成すること、また、あらゆるレベルにおいて有意義な青少年の参加を促進するために地域や国レベルで起こすことのできる推奨行動を作成することを要請すること。この報告書は、第28回APRスカウト会議の開催前にAPRサポートセンターに

よって作成されるものとする。

06/22 青少年および成人向けプログラムへのメンタルヘルスへの意識啓蒙の導入

スカウト会議は、

- スカウトがノンフォーマル教育を通じて若者の精神的成長を促進する運動であることを考慮し、
 - 成人が青少年を支援する役割を担っていることを認識し、
 - COVID-19 の大流行によって精神衛生上の問題が悪化していることを認識し、
 - 青少年に精神衛生に関する意識を教育し、認証制度を含め、心理的応急処置のスキルを身につけさせることの重要性を認識し、
- ・メンタルヘルスプログラムのための、より信頼性が高く適切な授業計画のため、専門のメンタルヘルス組織とのパートナーシップが推奨されることに留意し、
 - ・世界3カ年計画 2021-2024 の教育手法の戦略的優先事項である「青少年、スカウティングにおける成人、地域社会の回復力、幸福、心の健康を育むため、各国連盟に促進するガイドラインを提供し、私たちの全体的優先事項であるセーフ・フロム・ハームと関連づける」に含まれる文章を採用し、
 - ・各国スカウト組織が、「各国連盟青少年プログラム方針」と「各国連盟スカウティングにおける成人に関する方針」に加え、「メンタルヘルスの意識向上」と「心理的応急処置」を導入することを強く要請し、
 - ・APRスカウト委員会に対し、各国連盟の「青少年プログラム方針」および「スカウティングにおける成人に関する方針」において、メンタルヘルスへの認識を盛り込むよう、各国スカウト組織を支援することを要請する。

07/22 YAMG コーディネーターフレームワークの見直し

スカウト会議は、

- 地域青年代表（RYR）と彼らが代表する若者との間の効果的かつ効率的なコミュニケーションを可能にすることで、改訂されたYAMG コーディネーターの枠組みは、より多くの青少年が意思決定能力を開発し、地域レベルの異なる各国スカウト組織間の青少年の参加をより強化するものとなる。
 - さらに、この関係者のコミュニケーション・リンケージは、若者の参加と意思決定に関して、各国スカウト組織間がよりアクセスしやすく、魅力的な関係のための決定的な導管として機能することになることを指摘する。
- ・APRスカウト委員会に対し、ヤングアダルトメンバーグループ（YAMG）コーディネーターの構造を見直し、適切であれば改訂することを推奨し、
 - ・適切であれば、改訂されたYAMG コーディネーターの枠組みは、以下の効果を持つものとし：
 1. より多くの青少年が意思決定能力を身につけられるよう、さらなる能力強化を行い、
 2. 地域レベルの様々な各国連盟の間で若者の参加を強化し、
 3. RYRと代表する若者たちとの間の効果的かつ効率的なコミュニケーションを確保すること。
 - ・2019年のAPRスカウト委員会でヤングアダルトメンバーズグループ（YAMG）が地域青少年代表（RYR）に名称変更されるのに伴い、適切であればYAMG コーディネーターを「RYR コーディネーター」と改名すること、および、
 - ・RYR コーディネーターは、APRスカウトユースフォーラムに参加した青少年、または各国連盟が指名した18歳から26歳までの青少年（各国連盟がAPRスカウトユースフォーラムに参加しない場合）から選出することを要請する。

これは、2022-2025 年の3カ年計画の開始時に実施され、3カ年計画の終了時までには再評価される必要がある。

08/22 APRスカウトムートの復活

スカウト会議は、

- 地域開発に関する活動を体験し、地域内の他のスカウトのことを知るきっかけをさらに提供する。
 - スカウトのスキルと知識を統合し、再現可能な社会奉仕プロジェクトを通じて問題の解決策を提案することを目的としていることを認識する。
 - 様々な社会奉仕プロジェクトを通じて、スカウトが国づくりや持続可能な目標にどのように貢献できるか、地域開発の祭典を紹介することに注目する。
- ・APRスカウト委員会に対し、APRスカウトムート（APRSM）を出来れば3年ごとに開催し、世界行事と重複しないよう一貫性を持たせて復活することを要請し、
 - ・より多くの加盟連盟を結びつけるために、若い成人が地域の他のスカウトと交流できるように、地域開発イベントのショーケースとして開催するよう要請し、
 - ・APRが「世界スカウト行事開催のためのWOSMガイドライン」を適宜採用し、必要に応じて修正することを強く推奨し、同地域が合計30の各国連盟で構成されていることを認識し、
 - ・APRSMの開催地招致のための「世界スカウト行事招致のための行動規範」を採択する。次回のスカウトムートの招致は、各3カ年におけるAPRスカウト会議中に行うことができ、スカウトムートは順に次の3カ年に開催されるものとする。

これは、2022-2025 年の3カ年で実施し、3カ年ごとに見直すべきである。

09/22 APRの既存の3小地域組織への支援拡大

スカウト会議は、

- APRは、地理的にインド洋、南シナ海、東シナ海、太平洋にまたがる非常に広い地域をカバーし、世界のス

カウト人口の約2／3を有していることを認識し、APRは、1980年代後半から、小地域単位でプログラムや活動を組織することが運営上実行可能であると判断し、太平洋地域とインドにエリアコミッショナーなどのシステムを導入し、

- この現実を受け、APRは、1990年代の会議決議により、南太平洋小地域を正式に承認し、支援することに同意し、南太平洋スカウト連盟協議会（CSPSA）という名称で自主的に結成された。この小地域組織は、当初は少し休眠状態だったが、いくつかの資金提供や他のパートナーシップ、定期的に行われるCSPSAのチーフコミッショナー集会を通じ、新しいイニシアチブに焦点を当てられた。さらに、CSPSAの会合にはマネージメントやその他のトレーニングコースが併設され、これらは定期的に開催された。これらの会議は持ち回りで開催され、技術的には異なる各国連盟が主催し、当時APR事務所と呼ばれていたAPRサポートセンターの管理・監督下におかれていた。CSPSAの集いは、マニラにあるAPRサポートセンターを通じて、技術的な面でもその他の面でも正式な支援を受け続け、
- 上記の発展を踏まえ、このCPSAの正式機能が継続する一方、他の小地域が出現し、この10年ほど運営されてきた。また、ASEAN地域協力協会（ASARC）と南アジア連盟（SAANSO）という2つの小地域運営組織が、それぞれ独自の認可を受けている。これらの小地域組織は組織の活動を支援するため、独自に選出された事務局長と小地域の議長職を持ち、輪番制で業務を行う独自の仕組みを確立し、
- 上記を認識し、CSPSA、ASARC、SAANSOの3つの小地域組織は、共同で以下の議案を通し：

- ・ APRスカウト委員会に以下の検討を呼びかける。
- ・ これらの小地域をさらに強化するために、協調してあらゆる支援を行い、
- ・ APRサポートセンターが、APRサポートセンターのすべての3カ年計画に、3つの小地域と協議し、これら3つの小地域のニーズを特に対象としたプログラムや活動を含め：
- ・ APRスカウト委員とAPRサポートセンターのシニアスタッフが、可能な限りこれら3つの小地域で開催される小地域活動に参加できるようにし、
- ・ APRサポートセンターが、APR事務局長とAPRスカウト委員長の3カ年報告書に、これら3つの小地域に拡大された介入と支援を強調する規定を設けること。

10/22 小委員会委員およびタスクフォース委員に対する各国連盟の推薦と承認

スカウト会議は、

- APRの各小委員会及びタスクフォースにおいて、各国スカウト連盟は、それぞれの連盟の中で誰が務めるべきかを決定する最適な立場にあることを認識し、
- 各国連盟の事前の推薦や承認を得ることなくメンバーを任命することは、各国連盟への冒涇とみなされ、地域委員会は各国連盟と対立する立場に立たされる可能性があると考え、

会議は、すべての小委員会およびタスクフォースメンバーについて、それぞれの連盟による推薦と承認を得た後に任命されることを推奨する。

11/22 APRスカウト章の着用と使用

スカウト会議は、

- APRスカウトロゴは、1950年代、当時極東地域として知られていたときから、当地域で使用されていることに留意し、
- 私たちは地域の一員であることを誇りに思っており、APRスカウト委員もそうであるべきであることを認識し、
- すべての地域のスカウト委員会は、統一性を示すために世界スカウト章を着用すべきであるとする反論に留意し、
- 統一は素晴らしいが、多様性の中での統一こそがスカウトのユニークさであり、各国連盟が独自のユニフォームとスカウトロゴを持つことが許されている理由であると信じ、
- 私たちは一つの世界組織であることを認識し、地域ロゴの使用は強化されるべきであり、根絶させるべきではない。

会議は、APRスカウト章をAPRスカウト委員がAPRの制服の右ポケットに着用し続け、またAPRスカウト章をすべての公式行事、行事、広報資料、通信に使用し続けることを推奨する。

12/22 地域委員と所属各国連盟の絆

スカウト会議は、

- 各国連盟で積極的に活動しているAPRスカウト委員を有することは、弱みではなく、強みとして捉えられるべきであることを認識する。
- APRスカウト委員会が所属連盟に積極的に参加することは、APRスカウト委員会の活動にもつながるため、APRスカウト委員会の活動を抑制するのではなく、むしろ奨励すべきであると考える。

会議は、選出されたAPRスカウト委員が引き続き自身の所属国連盟と強い絆を維持し、所属国連盟における既存の役職や任命を解除することを求めないものとする。

13/22 地域スカウト委員のGSATへの関わり

スカウト会議は、

- APRの重要なリーダーとして、APRスカウト委員はGSATに積極的に参加し、各国連盟を直接知り、その強みと弱みを理解して、良い提言を行い、提言の実施をサポートする必要があることを考慮し、
- また、積極的に関わることで、APRスカウト委員は各国連盟間のベストプラクティスを収集し、共有するこ

とができることに留意し、

会議は、APRスカウト委員が各国スカウト連盟のGSAT評価に積極的に関与し、各国スカウト連盟における勧告の実施に支援することを推奨する。

14/22 セーフ・フロム・ハームの開発と導入に向けた継続的な支援

スカウト会議は、

- 決議9/18「セーフ・フロム・ハーム」に対する進捗状況として、APRが2つの国連盟スカウト組織に対し、「セーフ・フロム・ハーム方針」構築を支援し、スタッフ、ボランティア、コンサルタントに「セーフ・フロム・ハーム」に関する幅広いトレーニングを提供したことに留意し、
 - 2021年の世界スカウト会議で可決された、会員資格の承認に関する会則の改正を認め、「指導者の質、スカウティングに参加する児童・青少年・成人の安全な環境を確保するための方針と手順、指導者研修組織、加盟員規模、および資源により、自立した加盟員に適切なサービスを提供し、加盟員組織のすべての義務を引き受ける能力があることを証明するもの」とし、
 - 世界スカウト会議決議2021-Dで、各国スカウト連盟は2025年までに、スカウトにおける子ども、若者、成人の安全な環境を確保するための方針と手続きを整備するよう与えられていることがWOSM加盟の条件となることを振り返り、
- ・APRが、各国スカウト連盟の居住国の規制法に準拠した青少年の安全な環境を確保するための「セーフ・フロム・ハーム方針」とその手順の実施を支援するために、各国スカウト連盟に的を絞った支援を提供することを要請する。
 - ・2025年までにAPRのすべてのスカウト連盟が「セーフ・フロム・ハーム方針」を導入することを強く要請する。
 - ・APRがアクセス可能な会議を開催し、すべての加盟連盟が参加して「セーフ・フロム・ハーム」のベストプラクティスを学び、共有できるようにすることを要望する。

15/22 各国連盟におけるリスニングイヤー支援ネットワークの実施展開

スカウト会議は、

- 2011年の第22回世界スカウトジャンボリーで初めて導入され、その後2回の世界スカウトジャンボリーで実施された「リスニングイヤー」(LE)システムを認識すること。以前は心理的なサポートとしてキャンプで使用されていたが、LE支援ネットワークはスカウト活動の日々のベストプラクティスやアプローチに拡大することが可能であり、
 - 青少年や地域社会における心の健康の重要性が高まっていることを考慮し、
 - COVID-19の大流行によるメンタルヘルスの悪化に注意し、
 - WOSMのセーフ・フロム・ハームモジュールトレーニングプログラム：SFHモジュール「話すことから歩くことまで」および過去のワールドスカウトジャンボリーのリスニングイヤーベストプラクティスからのS.C.O.U.T-リスニングイヤーモデルのアプローチを認識し、
- ・APRスカウト委員会に対し、メンタルヘルスサポートの強化、メンタルヘルス意識の向上、WOSMのセーフ・フロム・ハームのアプローチの強化のため、各国連盟におけるリスニングイヤー(LE)サポートネットワークの開発を支援することを要請し：
 - ・さらに、各国連盟における「リスニングイヤー(LE)」支援ネットワークは、スカウトのための安全な空間の実施を開始、支援、監督し、リスニングイヤー(LE)が専用のコミュニケーション手段を通じて話を聞き、アドバイスを提供するプラットフォームを提供することを含むことが推奨され：
 - ・このネットワークは、心理的な応急処置の最初の窓口となり、さらに必要と判断された場合には、精神保健の専門家に相談することでサポートされる。

これは、第28回APRスカウト会議までに実施されるべきである。

16/22 APR計画2022-2025の採択

スカウト会議は、

- 会議決議12/18のポイント3にある「WOSMビジョン2023を達成するために、次期APR3カ年プラン(2021-2024)を次期世界3カ年計画2020-2023と完全に整合させることを推奨する」ことを認識し、
- 2021年の第10回APRスカウトリーダーズサミットにおいて、世界3カ年計画2021-2024を見直し、次期APR計画への意見を提供した後、各国連盟リーダーのAPR計画2022-2025への貢献を認め、
- APR各小委員会がサミットの成果を検討し、APR計画の目標、KPI、アクションステップを起草したことを認識し、
- 第27回APRスカウト会議の会議決議の諸条項を確認し、APR計画を確定する前に対処し、
- さらに、第27回APRスカウト会議の参加者が、この計画案について議論し、追加提言を行う機会を得たことを認識し、

会議は、APR計画2022-2025を承認し、APRスカウト委員会が、会議分科会の議論の意見を含む第27回APRスカウト会議の各種会議決議で求められた措置を考慮し、また2022年3月15日までに各国連盟からの追加意見を検討するという条項の下で原則的にこれを承認する。

以 上

<指導者養成関係>

1. 指導者訓練機関開設状況

県連盟	ボーイスカウト講習会				ウッドバッジ研修所															
	開設	修了者			スカウトコース(基本型)				課程別研修BVS課程				課程別研修CS課程				課程別研修BS課程			
					開設	履修者			開設	修了者			開設	修了者			開設	修了者		
		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計
北海道	4	10	15	25					1	1		1	1	1		1	1	1	1	2
青森	1	3	3	6																
岩手					1	6	1	7		1		1								
宮城	3	6	21	27		1		1		1		1								
秋田																				
山形	1	6	1	7					1	5		5								
福島	2	6	7	13	1	7	1	8		3		3	1	2		2	1	4	1	5
茨城	2	8	12	20									1	1	1	2				
栃木	2	20	13	33	1	9	1	10	1	2	1	3								
群馬	1				1	7	4	11												
埼玉	8	89	77	166						1		1		1		1		2		2
千葉	11	84	105	189	2	26	5	31	1	4	1	5	2	9	2	11	2	14	4	18
神奈川	15	150	127	277					2	4	1	5	2	4	1	5	2	4		4
山梨	1	6	5	11																
東京	21	230	149	379	2	35	6	41	1	6	3	9	1	13	1	14	1	18	1	19
新潟																				
富山	2	10	8	18																
石川	1	3	6	9	1	9	3	12					1	6	2	8				
福井	1	2	5	7		4		4	1	1		1	1	4		4	1	1		1
長野	1	2	9	11		4		4					1	1		1	1	2		2
岐阜	4	11	22	33	1	10	5	15	1	2	1	3	1	3	2	5	1	4	3	7
静岡	6	38	33	71	2	25	10	35	2	10	5	15	2	10	1	11	2	11	7	18
愛知	14	137	130	267	1	11	3	14	1	3	4	7	1	3	2	5	1	10	6	16
三重	2	8	7	15	1	5	2	7			1	1	1	1	1	2	1	2		2
滋賀	3	26	21	47																
京都	3	22	30	52	1	12	4	16		1	1	2	1	1	1	2	1	2	1	3
兵庫	10	72	99	171	1	15	3	18	1	4	3	7		5	1	6	1	5	2	7
奈良	4	41	45	86	1	16	12	28		1	1	2	1	6	3	9		6	2	8
和歌山	1	6	10	16	1	7		7									1			
大阪	12	107	111	218	2	19	12	31	1	7	3	10	1	3	4	7	1	1	5	6
鳥取	2	9	10	19																
島根	1	3	3	6																
岡山	2	10	13	23		4		4												
広島	3	7	20	27	1	1	2	3												
山口	1	4	4	8		1		1												
徳島						2		2												
香川	1	8	10	18																
愛媛	2	10	11	21		1		1										1		1
高知																				
福岡	4				1				1				1				1			
佐賀	1	3		3																
長崎	2	4	6	10									1	1		1	1	1		1
熊本	1	2	3	5		2	4	6	1		1	1						1		1
大分	1	3	9	12		1		1	1		2	2								
宮崎	1	2	4	6	1	2		2					1	2		2				
鹿児島	1	4	8	12													1	2	1	3
沖縄	3	9	15	24																
日本連盟																				
合計	162	1,181	1,187	2,368	23	242	78	320	17	57	28	85	22	77	22	99	21	91	35	126

県連盟	ウッドバッジ研修所								団委員研修所			
	課程別研修VS課程				スカウトコース(一括型)							
	開設	修了者			開設	修了者			開設	修了者		
		男	女	計		男	女	計		男	女	計
北海道												
青森												
岩手												
宮城												
秋田												
山形												
福島		3		3						1		1
茨城	1	1		1								
栃木	1	2		2								
群馬												
埼玉												
千葉	2	5		5								
神奈川	1	1		1								
山梨												
東京	1	6	2	8								
新潟												
富山												
石川												
福井	1	4		4								
長野	1	1		1								
岐阜	1	2		2								
静岡	2	3	1	4					1	11	3	14
愛知	1	11	4	15	1	20	4	24	1	7	3	10
三重		1		1								
滋賀	1											
京都		2		2						1		1
兵庫		3	1	4								
奈良	1	4		4								
和歌山		2		2								
大阪	1	2		2					1	12	2	14
鳥取												
島根												
岡山												
広島												
山口	1	2		2								
徳島												
香川												
愛媛												
高知												
福岡	1											
佐賀												
長崎												
熊本												
大分												
宮崎												
鹿児島												
沖縄												
日本連盟												
合計	17	55	8	63	1	20	4	24	3	32	8	40

県連盟	ウッドバッジ実修所																			
	BVS課程				CS課程				BS課程				VS課程				合計			
	開設	履修者			開設	履修者			開設	履修者			開設	履修者			開設	履修者		
		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計
北海道																				
青森																				
岩手																				
宮城																				
秋田																				
山形																				
福島																				
茨城									2 コースの開設を予定していましたが、中止となりました。				1 コースの開設を予定していましたが、中止となりました。							
栃木																				
群馬																				
埼玉		1	2	3														1	2	3
千葉						1	1	2										1	1	2
神奈川		3		3		1		1										4		4
山梨																				
東京		2	3	5		2	1	3										4	4	8
新潟																				
富山																				
石川		1		1														1		1
福井																				
長野		1		1														1		1
岐阜			1	1															1	1
静岡						1	2	3										1	2	3
愛知					1	8	4	12									1	8	4	12
三重						1		1										1		1
滋賀																				
京都						1		1										1		1
兵庫							1	1											1	1
奈良						3	2	5								3	2	5		
和歌山					1	1		1							1	1		1		
大阪						2	1	3								2	1	3		
鳥取																				
島根																				
岡山																				
広島																				
山口																				
徳島																				
香川																				
愛媛																				
高知																				
福岡																				
佐賀																				
長崎																				
熊本																				
大分																				
宮崎																				
鹿児島																				
沖縄					1	5	2	7								1	5	2	7	
日本連盟	1															1				
合 計	1	8	6	14	3	26	14	40								4	34	20	54	

県連盟	成人指導者訓練															
	団委員実修所				ウッドクラフトコース				副リーダートレーナーコース				リーダートレーナーコース			
	開設	履修者			開設	修了者			開設	履修者			開設	履修者		
		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計
北海道																
青森																
岩手																
宮城																
秋田																
山形										1		1				
福島																
茨城										1		1				
栃木																
群馬																
埼玉			1	1						1	1	2				
千葉		1		1							2	2		1		1
神奈川	1	8		8						4		4		2		2
山梨																
東京		2		2						2		2				
新潟																
富山																
石川																
福井																
長野										1		1				
岐阜																
静岡県										1	1	2		2		2
愛知県		1	1	2						4		4		1	1	2
三重										1		1		1		1
滋賀										2		2				
京都																
兵庫		1		1						2		2				
奈良										1		1		1		1
和歌山																
大阪										1	1	2		2		2
鳥取																
島根																
岡山																
広島										1		1				
山口																
徳島																
香川																
愛媛														1		1
高知																
福岡										1		1				
佐賀																
長崎																
熊本		1		1												
大分																
宮崎																
鹿児島																
沖縄										1		1		1		1
日本連盟									1				1			
合計	1	14	2	16					1	25	5	30	1	12	1	13

2. ボーイスカウト講習会開設状況

県連盟	開設申請時		開設数							
	開設 予定数	参加 見込人数	開設数	加盟員		非加盟員		合 計		総合計
				男	女	男	女	男	女	
北海道	4	30	4	6	2	4	13	10	15	25
青森	2	10	1			3	3	3	3	6
岩手	2	20								
宮城	2	30	3	1	6	5	15	6	21	27
秋田										
山形	1	10	1	2	1	4		6	1	7
福島	2	25	2	4	1	2	6	6	7	13
茨城	4	80	2	7	7	1	5	8	12	20
栃木	4	60	2	14	9	6	4	20	13	33
群馬	2	50	1							
埼玉	11	440	8	48	23	41	54	89	77	166
千葉	11	260	11	45	35	39	70	84	105	189
神奈川	15	350	15	80	47	70	80	150	127	277
山梨	2	20	1	3		3	5	6	5	11
東京	26	650	21	165	73	65	76	230	149	379
新潟	3	26								
富山	2	40	2	8	8	2		10	8	18
石川	2	40	1	2	3	1	3	3	6	9
福井	3	30	1			2	5	2	5	7
長野	5	50	1	1	2	1	7	2	9	11
岐阜	4	70	4	7	11	4	11	11	22	33
静岡	10	150	6	21	11	17	22	38	33	71
愛知	16	400	14	83	59	54	71	137	130	267
三重	2	30	2	4	4	4	3	8	7	15
滋賀	3	60	3	14	9	12	12	26	21	47
京都	4	96	3	8	8	14	22	22	30	52
兵庫	12	240	10	45	34	27	65	72	99	171
奈良	4	100	4	29	16	12	29	41	45	86
和歌山	2	50	1	1	5	5	5	6	10	16
大阪	14	350	12	69	36	38	75	107	111	218
鳥取	3	34	2	4	3	5	7	9	10	19
島根	3	30	1	1		2	3	3	3	6
岡山	3	30	2	4	2	6	11	10	13	23
広島	6	60	3	1	4	6	16	7	20	27
山口	2	40	1	3	3	1	1	4	4	8
徳島	2	15								
香川	1	30	1	4	1	4	9	8	10	18
愛媛	3	50	2	3	1	7	10	10	11	21
高知										
福岡	6	120	4							
佐賀	2	10	1	2		1		3		3
長崎	2	24	2	2		2	6	4	6	10
熊本	3	40	1	1	3	1		2	3	5
大分	2	40	1		2	3	7	3	9	12
宮崎	3	30	1	1		1	4	2	4	6
鹿児島	2	24	1	1		3	8	4	8	12
沖縄	3	36	3	6	2	3	13	9	15	24
日本連盟										
合 計	220	4,380	162	700	431	481	756	1,181	1,187	2,368

3. ウッドバッジ研修所開設状況

【スカウトコース】

No.	開設 県連盟	期 数	期 間	場 所	所長名	所員	履修者		
							男	女	合計
	北海道	第 4 期	5/2～5/5	旭川地区野営場【中止】	野 内 吉 徳				
1	岩 手	第 7 期	5/1～5/4	国立岩手山青少年交流の家	小 林 俊 将	10	6	1	7
2	福 島	第 6 期	5/2～5/5	つつじが森野営場	梶 原 圭 介	10	8	1	9
	茨城県	第 5 期	5/1～5/4	土浦市青少年の家【中止】	宮 田 俊 晴				
3	栃木県	第 3 期	11/20～11/23	栃木県連盟野営場	白 澤 正 年	11	9	1	10
4	群馬県	第 3 期	5/1～5/4	赤城少年自然の家	中 本 祐 太	8	10	4	14
5	千葉県	第 10 期	11/20～11/23	白井の森	小 西 章 夫	12	14	2	16
6		第 11 期	11/20～11/23	富津第1回野営場	野 中 浩 章	11	12	3	15
	神奈川	第 15 期	5/2～5/5	富士吉田市立青少年センター【中止】	小 杉 正 志				
		第 16 期	8/19～8/22	富士吉田市立青少年センター【中止】	大久保 清 彦				
		第 17 期	9/23～9/26	富士吉田市立青少年センター【中止】	山 田 均				
		第 18 期	3/19～3/22	【中止】	前 田 幸				
	東 京	第 17 期	4/29～5/2	日向野営場【中止】					
		第 18 期	5/3～5/6	日向野営場【中止】					
		第 19 期	9/17～9/20	日向野営場【中止】					
7		第 20 期	11/20～11/23	日向野営場	楡 原 仁	13	20	3	23
8		第 21 期	10/8～10/11	日向野営場	美濃嶋 宏 成	12	15	3	18
	富山県	第 3 期	9/18～9/21	山川キャンプ場【中止】	東 海 直 樹				
9	石川県	第 4 期	7/22～7/25	甥杉少年の森	宮 東 剛 文	11	13	3	16
	長野県	第 3 期	5/1～5/4	硯石キャンプ場【中止】	藤 川 育 宏				
10	岐阜県	第 5 期	5/2～5/5	富加の森野営場	水 谷 憲 昭	9	10	5	15
11	静岡県	第 9 期	5/2～5/5	MOA大仁研修センター	山 崎 敏 弘	13	21	6	27
12		第 10 期	11/20～11/23	MOA大仁研修センター	遠 藤 哲 史	11	5	4	9
	愛 知	第 16 期	9/17～9/20	新城・吉川野営場【中止】	山 口 貴美江				
13		第 17 期	10/8～10/11	新城・吉川野営場	齋 藤 祐 介	10	9	1	10
14	三 重	第 2 期	5/2～5/5	鈴鹿峠自然の家	柴 田 伸 彦	11	8	5	13
	滋 賀	第 3 期	9/23～9/26	滋賀連盟浅瀬野営場【中止】	山 川 直 之				
15	京 都	第 4 期	7/22～7/25	静原キャンプ場	高 橋 一 郎	10	9	2	11
16	兵 庫	第 9 期	7/22～7/25	神戸市立洞川教育キャンプ場	三 和 千 里	12	16	3	19
		第 10 期	9/23～9/26	姫路市牧野キャンプ場【中止】	寺 西 章 浩				
17	奈良県	第 3 期	5/2～5/5	はやまの森野営場	村 田 禎 章	12	16	8	24
18	和歌山	第 2 期	11/20～11/23	和歌山県立紀北青少年の家	藤 田 弘 治	9	8	2	10
19	大 阪	第 11 期	7/22～7/25	キャンプおおさか	高 矢 恒	12	9	7	16
		第 12 期	8/7～8/10	キャンプおおさか【中止】	宮 川 保 彦				
20		第 12 期	11/20～11/23	キャンプおおさか	井 口 雅 公	10	12	8	20
21	広島県	中国・四国 第5期	11/20～11/23	鷹ノ巣山キャンプ場	那 須 智 浩	10	7	2	9
	福岡県	九州・沖縄 第15期	5/2～5/5	脇山野営場【中止】	小 山 俊				
22		九州・沖縄 第16期	11/20～11/23	脇山野営場	藤 田 俊 郎				
23	宮 崎	九州・沖縄 第17期	11/20～11/23	宮崎連盟野外活動センター	大 山 俊 博	9	5	4	9
	沖縄県	九州・沖縄 第18期	11/20～11/23	源河野営場【中止】					
合 計							242	78	320

【課程別研修】
 (1)ビーバースカウト課程

No.	開設 県連盟	期 数	日 程・期 間	場 所	主任講師名	講 師	修了者		
							男	女	合計
1	北海道	第 3 回	11/21	北海道ボーイスカウト会館	飛 鳥 慶 子	2	1		1
2	山形県	第 1 回	11/28	天童市南部公民館	井 上 章	3	10		10
	茨城県	第 5 回	6/13	土浦市青少年の家【中止】	木名瀬 智 子				
3	栃木県	第 3 回	1/16	栃木県立美術館アートラウンジA	出 井 肇	5	2	1	3
	群馬県	第 4 回	6/20	群馬県青少年会館【中止】	堀 越 みゆき				
	埼玉県	第 3 回	3/27	【中止】					
	千葉県	第 8 回	6/27	千葉市中央コミュニティセンター【中止】	宇 山 則 幸				
4		第 9 回	12/19	東金青少年自然の家	相 田 剛	3	4	1	5
5	神奈川	第 15 回	5/23	神奈川スカウト会館	小 杉 正 志	3	2	1	3
		第 16 回	8/29	神奈川スカウト会館【中止】	大久保 清 彦				
		第 17 回	10/24	神奈川スカウト会館【中止】	山 田 均				
6	東京	第 18 回	3/27	神奈川スカウト会館	前 田 幸	6	4		4
		第 9 回	6/6	国立オリンピック記念青少年総合センター【中止】					
7	富山県	第 10 回	10/24	国立オリンピック記念青少年総合センター	佐 藤 武 信	5	5	3	8
	富山県	第 1 回	11/28	呉羽青少年自然の家【中止】	田 中 景 子				
8	福 井	第 2 回	3/13	福井県中小企業大学校	鹿ノ内 秀 夫	3	1		1
	長野県	第 5 回	6/20	【中止】	佐 藤 はつえ				
9	岐阜県	第 5 回	5/23	各務原市勤労会館	本 多 健 司	2	3	2	5
10	静岡県	第 9 回	5/23	静岡県青少年会館	山 本 知佐子	2	9	1	10
11		第 10 回	12/5	静岡県青少年会館	廣 瀬 真由美	3	1	4	5
12	愛 知	第 11 回	10/31	東別院会館	近 藤 武	4	2	4	6
13	兵 庫	第 3 回	11/7	ガーデンシティ舞多間	波 多 野 妥	6	5	4	9
14	大 阪	第 5 回	12/12	大阪スカウト会館	川 口 洋	3	8	4	12
	広島県	第 3 回	5/23	カトリック観音町教会【中止】	大 下 賢 一				
	山口県	第 2 回	6/27	秋穂地域交流センター【中止】	高 村 義 則				
	愛媛県	第 3 回	6/27	愛媛県生涯学習センター【中止】	高 田 政 則				
	福岡県	第 7 回	5/15	そひあしんぐ【中止】	城 戸 高 弘				
15		第 8 回	12/4	そひあしんぐ	城 戸 高 弘				
16	熊本県	第 1 回	12/19	熊本市花園公民館	外戸口 利 行	3		1	1
17	大分県	第 2 回	11/28	南部公民館	後 藤 秀 之	2		2	2
	沖縄県	第 3 回	12/19	沖縄県連盟事務局【中止】					
合 計							57	28	85

(2)カブスカウト課程

No.	開設 県連盟	期 数	日 程・期 間	場 所	主任講師名	講 師	修了者		
							男	女	合計
1	北海道	第 4 回	7/18	北海道ボーイスカウト会館	池 田 佳津枝	2	1		1
2	福 島	第 1 回	6/20	国立磐梯青少年交流の家	梶 原 圭 介	4	2		2
3	茨城県	第 5 回	6/13	土浦市青少年の家	小 峰 茂	3	1	1	2
	群馬県	第 4 回	6/20	群馬県青少年会館【中止】	中 本 祐 太				
	埼玉県	第 3 回	3/27	【中止】					
4	千葉県	第 8 回	6/27	千葉市中央コミュニティセンター	酒 井 慎 一	4	3		3
5		第 9 回	12/19	東金青少年自然の家	高 橋 あづさ	4	6	2	8
6	神奈川	第 15 回	5/23	神奈川スカウト会館	小 杉 正 志	3	1		1
		第 16 回	8/29	神奈川スカウト会館【中止】	大久保 清 彦				
		第 17 回	10/24	神奈川スカウト会館【中止】	山 田 均				
7		第 18 回	3/27	神奈川スカウト会館	前 田 幸	6	5	1	6
	東 京	第 9 回	6/6	国立オリンピック記念青少年総合センター【中止】					
8		第 10 回	10/24	国立オリンピック記念青少年総合センター	溝 呂 木 淳	5	12	1	13
	富山県	第 3 回	11/28	呉羽青少年自然の家【中止】	上 埜 茂 人				
9	石川県	第 2 回	8/29	野々市市中央公民館	手 井 博 史	1	7	2	9
10	福 井	第 2 回	3/13	福井県中小企業大学校	水 中 静以智	2	3		3
11	長野県	第 4 回	6/27	松本鎌田地区公民館	中 島 広 光	3	1		1
12	岐阜県	第 5 回	5/23	各務原市勤労会館	太 田 尚 宏	2	3	2	5
13	静岡県	第 9 回	5/23	静岡県青少年会館	稲 村 篤	3	7		7
14		第 10 回	12/5	静岡県青少年会館	宮 崎 賞 人	3	3	1	4
15	愛 知	第 12 回	10/31	東別院会館	飯 田 泰 弘	4	3	2	5
16	三 重	第 2 回	6/20	鈴鹿第1回ハウス	玄 羽 哲 雄	4	1	1	2
17	京 都	第 4 回	6/27	京都テルサ	八 木 久 行	5	2	1	3
18	奈良県	第 3 回	10/3	大和郡山市立三の丸会館	松 村 知 子	4	8	4	12
	和歌山	第 2 回	6/20	和歌山市河南コミュニティセンター【中止】	藤 田 弘 治				
19	大 阪	第 5 回	10/24	大阪スカウト会館	梶 山 圭 一	3	5	4	9
	岡 山	第 2 回	3/6	岡山市津高公民館【中止】	廣 田 利 香				
	広島県	第 3 回	5/29	カトリック観音町教会【中止】	大 下 賢 一				
	香 川	第 1 回	10/24	香川県青年センター【中止】	藤 田 五 郎				
	愛媛県	第 1 回	6/13	愛媛県生涯学習センター【中止】	宮 崎 雅 延				
	福岡県	第 7 回	5/16	そびあしんぐ【中止】	藤 田 俊 郎				
20		第 8 回	12/5	そびあしんぐ	藤 田 俊 郎				
21	長崎県	第 1 回	12/11	大村市中央公民館	辻 恵 子	3	1		1
	熊本県	第 1 回	2/6	熊本市花園公民館【中止】	大 山 俊 博				
22	宮 崎	第 2 回	12/19	宮崎連盟野外活動センター	山 本 卓 也	2	2		2
	沖縄県	第 3 回	1/23	沖縄県連盟事務局【中止】					
合 計							77	22	99

(3)ボーイスカウト課程

No.	開設 県連盟	期 数	日 程・期 間	場 所	主任講師名	講 師	修了者		
							男	女	合計
1	北海道	第 4 回	11/21	北海道ボーイスカウト会館	得 能 和 成	2	1	1	2
2	福 島	第 1 回	6/20	国立磐梯青少年交流の家	赤 城 圭 一	4	4	1	5
	茨城県	第 5 回	6/13	土浦市青少年の家【中止】	杉 浦 一 弘				
	群馬県	第 4 回	10/17	高崎市民活動センターソシアス【中止】	小 堀 剛				
	埼玉県	第 3 回	3/27	【中止】					
3	千葉県	第 8 回	6/27	千葉市中央コミュニティセンター	宇 治 隆 雄	3	3		3
4		第 9 回	12/19	東金青少年自然の家	針 谷 誠 一	3	12	4	16
5	神奈川	第 15 回	5/23	神奈川スカウト会館	小 杉 正 志	2	1		1
		第 16 回	8/29	神奈川スカウト会館【中止】	大久保 清 彦				
		第 17 回	10/24	神奈川スカウト会館【中止】	山 田 均				
6		第 18 回	3/27	神奈川スカウト会館	前 田 幸	5	7		7
	東 京	第 9 回	6/13	国立オリンピック記念青少年総合センター【中止】					
7		第 10 回	10/31	国立オリンピック記念青少年総合センター	中 村 淳	5	15	1	16
8	福 井	第 2 回	3/13	福井県中小企業大学校	水 中 静以智	3	1		1
9	長野県	第 3 回	6/20	松本鎌田地区公民館	神 藤 貴 博	3	2		2
10	岐阜県	第 5 回	5/23	各務原市勤労会館	古 家 恭 子	2	4	3	7
11	静岡県	第 9 回	5/23	静岡県青少年会館	荒 井 健	2	9	3	12
12		第 10 回	12/5	静岡県青少年会館	鈴 木 文 志	2	2	4	6
13	愛 知	第 13 回	10/31	東別院会館	古 木 啓 介	4	9	4	13
14	三 重	第 4 回	6/27	鈴鹿第1回ハウス	森 泰 之	3	3	2	5
	滋 賀	第 3 回	6/20	草津市市民総合交流センター【中止】	森 賢				
15	京 都	第 2 回	10/24	京都テルサ	金 子 晋 也	5	5	1	6
16	兵 庫	第 5 回	11/7	こうべ市民福祉交流センター	富 永 和 也	6	6	2	8
17	和歌山	第 2 回	10/31	和歌山市河南コミュニティセンター	中 谷 新 治	2	1	2	3
18	大 阪	第 7 回	12/5	大阪スカウト会館	平 喜 人	3	3	5	8
	岡 山	第 2 回	3/6	岡山市津高公民館【中止】	横 山 卓 生				
	広島県	第 4 回	5/22	カトリック観音町教会【中止】	大 下 賢 一				
	山口県	第 4 回	6/27	秋穂地域交流センター【中止】	小 橋 克 哉				
	香 川	第 1 回	10/31	香川県青年センター【中止】	坂 間 高 博				
	愛媛県	第 2 回	6/20	愛媛県生涯学習センター【中止】	伊 藤 文 雄				
	福岡県	第 7 回	5/15	そびあしんぐ【中止】	坂 口 亮 二				
19		第 8 回	12/4	そびあしんぐ	坂 口 亮 二				
20	長崎県	第 1 回	12/12	大村市中央公民館	田 中 勝 茂	2	1		1
21	鹿児島県	第 1 回	12/12	鹿児島県連盟野宮場	藏 元 靖 三	4	2	2	4
	沖縄県	第 3 回	2/27	沖縄県連盟事務局【中止】					
合 計							91	35	126

(4)ベンチャースカウト課程

No.	開設 県連盟	期 数	日 程・期 間	場 所	主任講師名	講 師	修了者		
							男	女	合計
	北海道	第 4 回	7/18	北海道ボーイスカウト会館【中止】	高 野 みどり				
1	茨城県	第 5 回	6/13	土浦市青少年の家	大 月 健 人	2	3		3
2	栃木県	第 3 回	2/6	栃木県立美術館アートラウンジA	白 澤 正 年	5	2		2
	群馬県	第 3 回	10/17	高崎市民活動センターソシアス【中止】	金 井 一 浩				
	埼玉県	第 3 回	3/27	【中止】					
3	千葉県	第 8 回	6/27	千葉市中央コミュニティセンター	菊 地 隆 一	3	2		2
4		第 9 回	12/19	東金青少年自然の家	大 槻 みな子	3	4		4
5	神奈川県	第 15 回	5/23	神奈川スカウト会館	小 杉 正 志	3	1		1
		第 16 回	8/29	神奈川スカウト会館【中止】	大久保 清 彦				
		第 17 回	10/24	神奈川スカウト会館【中止】	山 田 均				
		第 18 回	3/27	神奈川スカウト会館【中止】	前 田 幸				
	東 京	第 9 回	6/13	国立オリンピック記念青少年総合センター【中止】					
6		第 10 回	10/31	国立オリンピック記念青少年総合センター	諫 山 清	5	6	2	8
7	福 井	第 2 回	3/27	福井県生活学習館	水 中 静以智	2	4		4
8	長野県	第 4 回	6/27	松本鎌田地区公民館	竹 元 孝 志	2	1		1
9	岐阜県	第 4 回	5/23	那加福祉センター	田 中 忠 彦	2	2		2
10	静岡県	第 8 回	5/23	静岡県青少年会館	渡 邊 聡	2		1	1
11		第 9 回	12/5	静岡県青少年会館	久 原 宗 仁	2	3		3
12	愛 知	第 11 回	10/31	東別院会館	竹 田 基 子	4	12	4	16
13	滋 賀	第 2 回	10/31	大津市生涯学習センター	山 本 哲	2	3		3
14	奈良県	第 2 回	6/6	大和郡山市立三の丸会館	智 原 正 志	3	6		6
15	大 阪	第 5 回	10/3	大阪スカウト会館	小 川 時 弘	3	4	1	5
	広島県	第 3 回	5/30	カトリック観音町教会【中止】	松 本 計 一				
16	山口県	第 1 回	3/6	光市地域づくり支援センター	小 橋 克 哉	1	2		2
	福岡県	第 7 回	5/16	そぴあしんぐう【中止】	小 山 俊				
17		第 8 回	12/5	そぴあしんぐう	小 山 俊				
	沖縄県	第 3 回	3/13	沖縄県連盟事務局【中止】					
合 計							55	8	63

【スカウトコース+課程別研修(一括開設型)】

No.	開設 県連盟	期 数	期 間	課程	場 所	所長名	所 員	修了者		
								男	女	合計
	埼玉	第 9 期	3/18～3/21	全	那須野営場【中止】	脇 田 大 輔				
		第 10 期	9/18～9/21	全	那須野営場【中止】					
1	愛知	第 15 期	5/2～5/5	全	新城・吉川野営場	林 由 美 子	13	20	4	24
合 計								20	4	24

4. 団委員研修所開設状況

No.	開設 県連盟	期 数	期 間	場 所	所長名	所 員	修了者		
							男	女	合計
	群馬県	関東第24期	11/26～11/28	群馬県青少年会館【中止】	小 堀 剛				
	千葉県	第 31 期	10/8～10/10	【中止】	宇 山 則 幸				
	神奈川	第 36 期	2/11～2/13	川崎市青少年の家【中止】	谷 口 茂				
	東 京	第 34 期	5/3～5/5	国立オリンピック記念青少年総合センター【中止】					
	長野県	第 30 期	10/9～10/11	安藤百福センター【中止】	松 下 真				
1	静岡県	第 29 期	5/2～5/4	静岡県立焼津少年の家	八 巻 知 子	6	11	3	14
2	愛 知	第 42 期	10/9～10/11	東別院会館	椎 葉 育 美	8	7	3	10
	兵 庫	第 29 期	11/21～11/23	【中止】	宮 本 泰 彦				
3	大 阪	第 7 期	7/23～7/25	大阪コロナホテル	川 口 明 宏	4	14	2	16
	香 川	中国・四国 第16期	2/11～2/13	香川県青年センター【中止】	藤 田 五 郎				
合 計							32	8	40

5. コミッショナー研修開設状況

【コミッショナーベーシックトレーニング】

No.	開設 県連盟	期 数	期 間	場 所	コースディレクター名	所 員	修了者		
							男	女	合計
	宮城県	東北第1期	9/23～9/26	松島自然の家【中止】	中 橋 邦				
	茨城県	第 1 期	9/23～9/26	土浦市青少年の家【中止】	若 林 正 則				
1	千葉県	第 1 期	7/22～7/25	那須野宮場	片 寄 朗	9	18	7	25
	神奈川	第 1 期	9/18～9/21	富士吉田市立青少年センター【中止】					
	新潟	第 1 期	9/23～9/26	五頭連峰少年自然の家【中止】					
	愛 知	第 1 期	9/23～9/26	新城・吉川野宮場【中止】					
2	滋 賀	第 1 期	11/20～11/23	淡海湖西生涯学習センター	山 本 哲	14	30	8	38
3	福岡県	九州・沖縄 第1期	10/8～10/11	脇山野宮場	結 城 利 章	8	7	2	9
合 計							55	17	72

【コミッショナー任務別研修 地区コミッショナー課程】

No.	開設 県連盟	期 数	期 間	場 所	主任講師名	所 員	修了者		
							男	女	合計
	宮城県	東北 第1期	10/9～10/10	宮城県連盟事務所【中止】	中 橋 邦				
	茨城県	第 1 期	12/4～12/5	土浦市青少年の家【中止】	若 林 正 則				
1	千葉県	第 1 期	10/9～10/10	千葉市美術館	片 寄 朗	3	18	4	22
	神奈川	第 1 期	12/11～12/12	神奈川スカウト会館【中止】					
	新潟	第 1 期	11/20～11/21	長岡市四郎丸コミュニティセンター【中止】	平 田 則 行				
2	愛 知	第 1 期	10/23～10/24	新城・吉川野宮場	藤 高 功一郎	4	9	1	10
3	滋 賀	第 1 期	2/20～3/21	淡海湖西生涯学習センター	田 中 隆 弘	5	25	1	26
4	福岡県	九州・沖縄 第1期	11/6～11/7	脇山野宮場	結 城 利 章	3	7	2	9
合 計							59	8	67

【コミッショナー任務別研修 県連盟コミッショナー課程】

No.	開設 県連盟	期 数	期 間	場 所	主任講師名	所 員	修了者		
							男	女	合計
1	日本	第 1 期	10/15～10/16	国立オリンピック記念青少年総合センター	福 嶋 正 己	11	36	3	39
合 計							36	3	39

6. ウッドバッジ実修所・団委員実修所 第二教程履修状況

(1) 隊指導者上級訓練課程「ウッドバッジ実修所」

課 程	B V S課程			C S課程									小 計			前 年 度 履 修 者 数
開 設	日本連盟			愛知連盟			和歌山連盟			沖縄県連盟						
期 数	第 45 期			第 172 期			第 173 期			第 174 期						
期 間	10/8～10/11			7/22～7/25			7/22～7/25			2/10～2/13						
場 所	那須野営場			新城・吉川野営場			和歌山市立 青少年国際交流セン			源河野営場						
所 長	林 由美子			佐々木 まさ子			奥 久 英 祐			藤 田 俊 郎						
主任所員	新 谷 浩 朗			高 村 義 則			川 口 由 美			富 永 和 也						
所 員	6 人			6 人			6 人			4 人						
履修者	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
北海道																
青 森																
岩 手																
宮 城																
秋 田																
山 形																
福 島																
茨 城																
栃 木																
群 馬																
埼 玉	1	2	3										1	2	3	1
千 葉				1	1	2							1	1	2	12
神奈川	3		3				1		1				4		4	1
山 梨																
東 京	2	3	5				2		2		1	1	4	4	8	6
新 潟																
富 山																
石 川	1		1										1		1	
福 井																1
長 野	1		1										1		1	
岐 阜		1	1											1	1	4
静 岡				1	2	3							1	2	3	5
愛 知				8	4	12							8	4	12	9
三 重				1		1							1		1	
滋 賀																
京 都							1		1				1		1	
兵 庫								1	1					1	1	6
奈 良							3	1	4		1	1	3	2	5	2
和歌山							1		1				1		1	
大 阪							2	1	3				2	1	3	
鳥 取																
島 根																
岡 山																
広 島																
山 口																
徳 島																
香 川																
愛 媛																
高 知																
福 岡																5
佐 賀																
長 崎																
熊 本																
大 分																1
宮 崎																
鹿 児 島																
沖 縄										5	2	7	5	2	7	
合 計	8	6	14	11	7	18	10	3	13	5	4	9	34	20	54	53
	6 県連盟			4 県連盟			7 県連盟			3 県連盟			16 県連盟			

(2) 団指導者上級訓練課程「団委員実修所」

開 設	神奈川連盟			小 計			前 年 度 履 修 者 数
期 数	第 29 期						
期 間	7/9～7/11						
場 所	川崎市青少年の家						
所 長	鵜 飼 明 宏						
	熊 谷 豊						
所 員	6 人						
履修者	男	女	計	男	女	計	
北海道							
青 森							
岩 手							
宮 城							
秋 田							
山 形							
福 島							
茨 城							1
栃 木							
群 馬							
埼 玉		1	1		1	1	2
千 葉	1		1	1		1	
神奈川	8		8	8		8	2
山 梨							
東 京	2		2	2		2	3
新 潟							
富 山							
石 川							
福 井							
長 野							
岐 阜							
静 岡							
愛 知	1	1	2	1	1	2	1
三 重							
滋 賀							
京 都							
兵 庫	1		1	1		1	6
奈 良							
和歌山							
大 阪							
鳥 取							
島 根							
岡 山							
広 島							
山 口							
徳 島							
香 川							
愛 媛							
高 知							
福 岡							
佐 賀							
長 崎							
熊 本	1		1	1		1	
大 分							
宮 崎							
鹿児島							
沖 縄							
合 計	14	2	16	14	2	16	15
	7 県連盟			7 県連盟			

7. 日本連盟トレーニングチーム員人数表

県連盟	現 職 者			休 務 者			合 計		総合計
	L T	ALT	合計	L T	ALT	合計	L T	ALT	
北海道	5 (1)	8 (3)	13 (4)		1	1	5 (1)	9 (3)	14 (4)
青 森	2	2	4				2	2	4
岩 手		2 (1)	2 (1)					2 (1)	2 (1)
宮 城	4	2 (1)	6 (1)		1	1	4	3 (1)	7 (1)
秋 田	1	2 (1)	3 (1)				1	2 (1)	3 (1)
山 形	1	1	2				1	1	2
福 島	1	2	3				1	2	3
茨 城	5	8 (3)	13 (3)		1	1	5	9 (3)	14 (3)
栃 木	3	6 (2)	9 (2)				3	6 (2)	9 (2)
群 馬	5 (1)	6 (1)	11 (2)				5 (1)	6 (1)	11 (2)
埼 玉	9 (1)	18 (3)	27 (4)		1	1	9 (1)	19 (3)	28 (4)
千 葉	6	22 (2)	28 (2)	1		1	7	22 (2)	29 (2)
神奈川	11 (3)	20 (1)	31 (4)				11 (3)	20 (1)	31 (4)
山 梨		4	4					4	4
東 京	19 (1)	39 (3)	58 (4)	3	2 (1)	5 (1)	22 (1)	41 (4)	63 (5)
新 潟	4 (1)	2	6 (1)		2	2	4 (1)	4	8 (1)
富 山	5 (1)	2 (1)	7 (2)	1		1	6 (1)	2 (1)	8 (2)
石 川	1	4	5				1	4	5
福 井	1	3	4				1	3	4
長 野	2	4 (1)	6 (1)		1	1	2	5 (1)	7 (1)
岐 阜	4 (1)	8	12 (1)				4 (1)	8	12 (1)
静 岡	11 (2)	26 (4)	37 (6)	2 (1)	2	4 (1)	13 (3)	28 (4)	41 (7)
愛 知	18 (2)	41 (7)	59 (9)	1	3	4	19 (2)	44 (7)	63 (9)
三 重	1	5	6				1	5	6
滋 賀	3	5	8		1	1	3	6	9
京 都	8 (1)	11 (2)	19 (3)	5		5	13 (1)	11 (2)	24 (3)
兵 庫	9	11	20	2	1	3	11	12	23
奈 良	2	8 (3)	10 (3)				2	8 (3)	10 (3)
和歌山	2	2	4				2	2	4
大 阪	17 (2)	20 (3)	37 (5)	3	1	4	20 (2)	21 (3)	41 (5)
鳥 取	1	4	5				1	4	5
島 根	1		1		1	1	1	1	2
岡 山	1 (1)	1	2 (1)	1		1	2 (1)	1	3 (1)
広 島	1	1	2				1	1	2
山 口	4	1	5				4	1	5
徳 島		1	1	1		1	1	1	2
香 川	1	1	2				1	1	2
愛 媛	1	4 (1)	5 (1)				1	4 (1)	5 (1)
高 知									
福 岡	6	5	11		3	3	6	8	14
佐 賀		2 (2)	2 (2)					2 (2)	2 (2)
長 崎		2 (1)	2 (1)					2 (1)	2 (1)
熊 本	1	1	2				1	1	2
大 分		3	3	1 (1)		1 (1)	1 (1)	3	4 (1)
宮 崎	1	2	3				1	2	3
鹿児島	2	5 (1)	7 (1)				2	5 (1)	7 (1)
沖 縄	3 (1)	2	5 (1)				3 (1)	2	5 (1)
合 計	183 (19)	329 (47)	512 (66)	21 (2)	21 (1)	42 (3)	204 (21)	350 (48)	554 (69)

()は女性で内数

< 運営関係 >

1. 2021年度 県別維持会員数・維持会費入金状況表

*新規は内数、累計。今年度新規加入者・社数

	県名	2021年度	2021（令和4）年3月31日現在の実績					
		協力依頼額	会員数	*新規	扱件数	入金率	入金額	達成率
1	北海道	792,000	65	2	31	47.7%	340,000	42.9%
2	青森県	180,000	30	1	11	36.7%	190,000	105.6%
3	岩手	180,000	54		20	37.0%	297,000	165.0%
4	宮城県	358,000	43	2	20	46.5%	830,000	231.8%
5	秋田県	134,000	61	1	23	37.7%	462,000	344.8%
6	山形県	141,000	7		5	71.4%	242,000	171.6%
7	福島	467,000	24		8	33.3%	654,000	140.0%
8	茨城県	785,000	46		22	47.8%	294,121	37.5%
9	栃木県	508,000	22		12	54.5%	508,000	100.0%
10	群馬県	543,000	59	6	30	50.8%	543,000	100.0%
11	埼玉県	2,186,000	163	12	113	69.3%	2,186,000	100.0%
12	千葉県	1,902,000	123	10	93	75.6%	2,354,000	123.8%
13	神奈川	2,539,000	225	16	119	52.9%	2,666,000	105.0%
14	山梨	222,000	22	1	14	63.6%	155,000	69.8%
15	東京	4,446,000	467	56	320	68.5%	6,084,000	136.8%
16	新潟	441,000	132	5	63	47.7%	802,000	181.9%
17	富山県	441,000	13		7	53.8%	108,000	24.5%
18	石川県	429,000	41		20	48.8%	336,000	78.3%
19	福井	311,000	73	1	21	28.8%	268,000	86.2%
20	長野県	459,000	78	1	25	32.1%	1,080,000	235.3%
21	岐阜県	512,000	99	8	73	73.7%	1,473,000	287.7%
22	静岡県	1,757,000	176		107	60.8%	1,900,000	108.1%
23	愛知	3,352,000	440	12	243	55.2%	6,592,000	196.7%
24	三重	290,000	68	4	52	76.5%	878,000	302.8%
25	滋賀	460,000	35	2	21	60.0%	563,000	122.4%
26	京都	1,095,000	66	1	51	77.3%	1,397,000	127.6%
27	兵庫	2,080,000	281	16	188	66.9%	2,513,000	120.8%
28	奈良県	844,000	79	1	53	67.1%	1,098,000	130.1%
29	和歌山	332,000	71	11	65	91.5%	1,228,000	369.9%
30	大阪	2,889,000	139	11	82	59.0%	3,278,000	113.5%
31	鳥取	196,000	31		16	51.6%	502,000	256.1%
32	島根	271,000	20		15	75.0%	492,000	181.5%
33	岡山	419,000	47		34	72.3%	672,000	160.4%
34	広島県	520,000	57		44	77.2%	677,000	130.2%
35	山口県	451,000	51	1	31	60.8%	469,000	104.0%
36	徳島	182,000	25	3	14	56.0%	201,000	110.4%
37	香川	281,000	52		32	61.5%	612,000	217.8%
38	愛媛県	505,000	30	1	22	73.3%	507,000	100.4%
39	高知県	57,000	12		4	33.3%	50,000	87.7%
40	福岡県	973,000	119	2	69	58.0%	1,087,000	111.7%
41	佐賀県	225,000	31		16	51.6%	260,000	115.6%
42	長崎県	240,000	24		7	29.2%	70,000	29.2%
43	熊本県	487,000	17		9	52.9%	104,000	21.4%
44	大分県	197,000	9		5	55.6%	664,000	337.1%
45	宮崎	305,000	32		21	65.6%	273,000	89.5%
46	鹿児島県	252,000	27	1	19	70.4%	358,000	142.1%
47	沖縄県	364,000	21	1	18	85.7%	430,000	118.1%
県連合計		37,000,000	3,807	189	2,288	60.1%	48,747,121	131.7%
48	日連	20,500,000	250	6	134	53.6%	7,623,303	37.2%
総合計		57,500,000	4,057	195	2,422	59.7%	56,370,424	98.0%

2. 褒章・叙勲等受章者

(敬称略)

○ 春の叙勲・褒章

瑞宝小綬章	池澤栄次郎	(兵庫連盟 理事)
瑞宝双光章	中山 隆史	(兵庫連盟 伊丹第5団ボーイ隊副長)
瑞宝単光章	清水 修	(新潟連盟 事務局長)
黄綬褒章	加藤 繁	(大阪連盟 島本第1団団委員)

○ 秋の叙勲・褒章

旭日中綬章	中村 寿夫	(島根連盟 理事)
旭日単光章	安田 勝	(岐阜県連盟 副連盟長、前 日本連盟 名誉会議議員)
瑞宝単光章	安達 幸男	(大阪連盟 吹田第9団副団委員長)
瑞宝単光章	橋川 光司	(大阪連盟 富田林第1団育成会長)

○ 社会教育功労者文部科学大臣表彰（役職は表彰名簿の「主要経歴」を記載）

横澤 繁	(宮城県連盟 名誉会議議員)
伊藤 知	(千葉県連盟 副連盟長)
笠嶋 義憲	(福井連盟 副理事長)
青木 秀樹	(長野県連盟 理事)
日比野正治	(岐阜県連盟 副理事長)
水谷 恵至	(愛知連盟 理事)
篠田 常生	(京都連盟 副連盟長)
中西 達	(奈良県連盟 理事長)
田村 幹夫	(鳥取連盟 理事)
阿部 芳行	(広島県連盟 事務局長)
久保 博之	(高知県連盟 県連盟副コミッショナー)
村田 禎章	(日本連盟 理事)

物故者

日本連盟理事・名誉会議議長、東京連盟 副連盟長	小町 國市 (77歳)	5月29日
日本連盟 副リーダートレーナー	加古 晶三 (65歳)	7月21日
日本連盟 リーダートレーナー・日本連盟 医療チーム幹事	原 和彦 (56歳)	8月 8日
日本連盟 副リーダートレーナー、群馬県連盟 副コミッショナー	金井 一浩 (62歳)	11月25日
元日本連盟 相談役・福岡県連盟 先達	阿部 道生 (88歳)	12月 7日
日本連盟 参与	久野 桂 (89歳)	12月11日
元日本連盟評議員・鹿児島県連盟 副連盟長	和田 貞則 (99歳)	12月16日
元日本連盟中央名誉会議議員・広島県連盟 先達	木村 廣男 (91歳)	2月14日
元日本連盟評議員・福岡県連盟 副連盟長	高武 辰行 (75歳)	2月21日

3. 他団体の役員・委員等の就任状況

(敬称略)

注：() 内は公益財団法人ボーイスカウト日本連盟役務・肩書。就任期間については、2021年度を含む期間を記載

○ 内閣府（男女共同参画局）男女共同参画推進連携会議

議 員	水野 正人（日本連盟理事長）	2021年4月21日～2021年8月15日
		2021年8月16日～2023年8月15日

○ 社会福祉法人 中央共同募金会

評議員	佐野 友保（日本連盟専務理事）	2021年6月4日～2021年6月18日
		2021年6月18日～2025年6月定時評議員会まで

○ 公益財団法人 日本宇宙少年団

評議員	杉原 正（日本連盟顧問・先達）	2020年6月22日～2024年6月定時評議員会まで
-----	-----------------	----------------------------

○ 公益社団法人 日本キャンプ協会

理 事	木村 公一（日本連盟事務局長）	2020年6月6日～2021年6月13日
理 事	大久保秀人（日本連盟事務局長）	2021年6月13日～2022年6月定時社員総会まで

○ 特定非営利活動法人 白川郷自然共生フォーラム

理 事	大久保秀人（日本連盟事務局長）	2021年6月4日～2022年6月総会まで
-----	-----------------	-----------------------

○ 体験の風をおこそう運動推進委員会

委 員	岡谷 篤一（日本連盟理事長）	2020年5月28日～2021年8月31日
委 員	水野 正人（日本連盟理事長）	2021年9月1日～2022年3月31日
企画推進チーム	吉村 敏（日本連盟事務局次長）	2021年4月1日～2022年3月31日

○ 高萩スカウトフィールド活用事業実行委員会（高萩市の委員会）

委員長	増田 秀夫（日本連盟理事）	2020年5月28日～2021年10月11日
委 員	増田 秀夫（日本連盟理事）	2021年10月12日～任務終了まで

○ 「出会いと体験の森へ」実行委員会

委 員	大浦 秀樹（日本連盟事務局シニアディレクター）	2021年4月1日～2022年3月31日
-----	-------------------------	----------------------

○ 独立行政法人国立青少年教育振興機構

評価委員	吉村 敏（日本連盟事務局次長）	2020年4月1日～2022年3月31日
------	-----------------	----------------------

○ 「青少年の体験活動員会の推進に関する調査研究 調査検討委員会」

委 員	吉村 敏（日本連盟事務局次長）	2021年10月2日～2022年3月10日
-----	-----------------	-----------------------

4. 各種名簿

※ 各種名簿は、２０２２年３月３１日現在

（２０２１年度内に終了した委員会等については任務終了日現在）

(1) 評議員

任期：２０２２年度定時評議員会まで

役務	氏名	役職
1 評議員長	谷口 修	ボーイスカウト大阪連盟 参与
2 副評議員	船橋 鐸夫	ボーイスカウト愛知連盟 副連盟長
3	森谷 治男	ボーイスカウト東京連盟 新多磨地区協議会長
4 評議員	井沢 啓一	ボーイスカウト東京連盟 副理事長
5	牛山 佳久	ボーイスカウト埼玉連盟 理事長
6	大刀 隆雄	ボーイスカウト福井連盟 副連盟長
7	片平 紀行	ボーイスカウト千葉県連盟 理事長
8	河内 正美	ボーイスカウト群馬県連盟 副連盟長
9	木村 和幸	ボーイスカウト岐阜県連盟 副連盟長
10	真山 明夫	ボーイスカウト東京連盟 副理事長
11	白井 堯子	千葉県立衛生短期大学 名誉教授
12	白澤 嘉宏	ボーイスカウト栃木県連盟 理事長
13	末永 正志	ボーイスカウト岩手連盟 副連盟長
14	鈴木 武	ボーイスカウト兵庫連盟 相談役
15	仙石 康盛	ボーイスカウト和歌山連盟 理事長
16	辰野 勇	(株)モンベル 代表取締役会長 兼 CEO
17	土山 和雅	ボーイスカウト静岡県連盟 副連盟長
18	天雲 俊夫	ボーイスカウト香川連盟 副連盟長
19	中川 玄一	ボーイスカウト神奈川連盟 相談役
20	乳井 豊彦	ボーイスカウト秋田県連盟 副連盟長
21	橋本 貢	ボーイスカウト広島県連盟 理事長
22	稗田 将也	ボーイスカウト鹿児島県連盟 副理事長
23	藤本 欣司	ボーイスカウト神奈川連盟 理事長
24	間下 正司	ボーイスカウト大阪連盟 参与
25	松本 仁	(株)アメリカンアライアンスファイナンス取締役会長 兼 CEO
26	宮里 博史	ボーイスカウト沖縄県連盟 副連盟長
27	森屋 啓	ボーイスカウト千葉県連盟 名誉会議議員
28	横山 稔	ボーイスカウト大阪連盟 参与
29	吉田 甚造	ボーイスカウト奈良県連盟 理事長

評議員29人

(2) 理事・監事

任期：２０２２年度定時評議員会まで

役務	氏名	役職
1 理事長	水野 正人	ミズノ(株) 相談役会長
2 副理事長	大坪 文雄	ボーイスカウト大阪連盟 連盟長、 パナソニック(株) 特別顧問
3 専務理事	佐野 友保	ボーイスカウト神奈川連盟 副連盟長
4 常務理事	膳師 功	ボーイスカウト大阪連盟 参与
5	出田 行徳	ボーイスカウト長野県連盟 副連盟長
6 理 事	福嶋 正己	ボーイスカウト東京連盟 副連盟長
7	嶋田 寛	ボーイスカウト滋賀連盟 名誉会議議員
8	村田 禎章	ボーイスカウト奈良県連盟 理事
9	木村 寿宏	ボーイスカウト神奈川連盟 県連盟副コミッショナー
10	神原 孝治	ボーイスカウト愛知連盟 副理事長
11	栗田 哲郎	ボーイスカウト神奈川連盟 県連盟副コミッショナー
12	笹渕 真子	ボーイスカウト東京連盟 理事
13	澤 朋宏	ボーイスカウト愛知連盟 理事
14	水戸守雅之	ボーイスカウト大阪連盟 理事
15	和田 剛和	ボーイスカウト宮城県連盟 理事
16	村上 智真	
17	戸高 有基	ボーイスカウト大分県連盟 理事長
18	磯山 友幸	経済ジャーナリスト
19	増子 恵二	ボーイスカウト福島連盟 副連盟長
20	増田 秀夫	
21	白川 雅之	ボーイスカウト東京連盟 理事長
22	三毛 兼承	株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ 取締役 執行役会長
23	塩谷 立	衆議院議員、 ボーイスカウト振興国会議員連盟 副会長 兼 事務総長
1 監 事	相原 光治	公認会計士・税理士
2	熊坂 博幸	公認会計士、 ボーイスカウト東京連盟 監事
3	樽谷 進	弁護士、 ボーイスカウト大阪連盟 参与

理事23人 監事3人 合計26人

(3) コミッショナー

任期：2022年3月31日まで

日本連盟コミッショナー	福島 正己
日本連盟副コミッショナー	氏家 邦政
	川村 悦子
	村田 禎章
	山崎 伊佐緒
国際コミッショナー	嶋田 寛
国際副コミッショナー	中野 まり
	松平 頼昌

(4) 常設委員会

任期：2022年3月31日まで

【団支援・組織拡充委員会】

委員長	木村 寿宏
副委員長	佐藤 之雄
委員	高見 和宏
	中園尾 正
	中本 祐太
	藤川 晴代

【プログラム委員会】

委員長	榊原 孝治
副委員長	中島 清行
委員	桑 英人
	佐藤 成
	佐藤 達也
	神保 雅弘
	高橋 義人
	竹内 和夫

【指導者養成委員会】

委員長	栗田 哲郎
副委員長	志賀 裕人
委員	藤田 五郎
	森田 次郎
	山下 すみ江

【国際委員会】

委員長	笹渕 真子
副委員長	大石 千秋
委員	小山 正芳
	加島 潤
	津田 祥太郎
	パウル ミヒャエル

【社会連携・広報委員会】

委員長	澤 朋宏
副委員長	山本 慎太郎
委員	安部 秀
	大関 ゆかり
	川瀬 政美
	張 ハンビッ
	藤田 大悟
	松田 美歌
	山本 浩介

【「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会】

委員長	水戸守 雅之
副委員長	宮田 俊晴
委員	宇山 健太
	大里 葉子
	佐藤 薫
	中西 祐一
	水書 祐美子

【財務委員会】

委員長	和田 剛和
副委員長	南 秀生
委員	出田 行徳
	栗原 均
	中鶴 英昭
	間下 正司

【信仰奨励委員会】

委員長	村上 智真
委員	飯盛 安信
	町田 正照
	森定 信吉
	八巻 知子

(5)特別委員会

【中途退団抑止特別委員会】

任期：2022年3月31日まで

委員長	膳師 功
副委員長	櫻井 茂生
	佐藤 一石
委員	井上 義雄
	時田 和明
	村田 紘一
	森地 一夫

【スカウトソング特別委員会】

任期：2022年3月31日まで

委員長	石原 徹
委員	小笠原 妙香
	鹿ノ内 美智子
	品田 千絵保
	日上 光明
	山崎 裕

【「スカウト用品経営会議」特別委員会】

任期：2020年5月13日～2022年5月定時評議員会まで

委員長	佐野 友保
委員	磯山 友幸
	出田 行徳
	木村 寿宏
	澤 朋宏
	戸高 有基
	村田 禎章
	和田 剛和

【ジェンダー共同参画特別委員会】

任期：2020年8月1日～2022年3月31日まで

委員長	福嶋 正己
副委員長	川村 悦子
委員	石原 有紀子
	追分 由子
	大関 ゆかり
	川瀬 政美
	笹渕 真子
	佐藤 薫
	重信 里菜
	張 ハンビツ
	田中 いづみ
	田村 聡子
	中谷 真里
	藤川 晴代
	本 歩実
	八巻 知子

【共済運営特別委員会】

任期：2022年3月31日まで

委員長	戸高 有基
副委員長	岩井 均
委員	浅井 裕己
	加古 洋輔
	真山 明夫
	塚本 一男

【新加盟登録制度検討特別委員会】

任期：2020年10月6日～2022年5月定時評議員会まで

委員長	佐野 友保
副委員長	木村 寿宏
委員	磯山 友幸
	出田 行徳
	澤 朋宏
	膳師 功
	谷口 修
	土田 純平
	福嶋 正己
	村田 禎章
	和田 剛和

【日本連盟資産管理等特別委員会】

任期：2021年5月11日～2022年5月定時評議員会まで

委員長	佐野 友保
委員	出田 行徳
	八城 貞子
	増田 秀夫
	山崎 伊佐緒
	和田 剛和
アドバイザー	中川 玄一

【SDGs 協働事業特別委員会】

任期：2021年5月11日～2022年5月定時評議員会まで

委員長	松平 頼昌
委員	安部 秀
	玉井 鈴野
	満仲 聡之
	安居 祐治

(6) 実行委員会、タスクチーム等

【100周年記念史編集委員会】

任期：2016年1月19日～任務終了時まで

委員長	鈴木 國夫
委員	今井 章
	金井 昭二
	茂木 達郎

【日本連盟創立100周年記念事業実行委員会】

任期：2020年5月28日～任務終了時まで

委員長	佐野 友保
委員	木村 寿宏
	鈴木 國夫
	戸高 有基
	松平 頼武

【100周年記念式典小委員会】

任期：2020年5月28日～任務終了時まで

委員長	佐野 友保
委員	入江 生夫
	氏家 邦政
	片平 紀行
	白川 雅之
	中橋 邦
	藤本 欣司
	村山 正己
	山崎 伊佐緒
	山本 照恵

【100周年スカウトミュージアム建設小委員会】

任期：2020年5月28日～任務終了時まで

委員長	松平 頼武
副委員長	永井 淳
委員	笠原 勲
	中川 玄一
	増田 秀夫

【100周年特別募金小委員会】

任期：2020年5月28日～任務終了時まで

委員長	戸高 有基
副委員長	磯山 友幸
委員	出田 行徳
	井上 義雄
	澤 朋宏
	鈴木 俊雄
	間下 正司
	和田 剛和

【100周年都道府県連盟記念事業小委員会】

任期：2020年5月28日～任務終了時まで

委員長	木村 寿宏
副委員長	井沢 啓一
	榊原 孝治
委員	今泉 哲也
	川田 幸児
	指田 守昭
	関口 昇一郎

【第18回日本スカウトジャンボリー実行委員会】

任期：2020年5月28日～任務終了時まで

委員長	白川 雅之
委員	井沢 啓一
	海老沼 崇
	片渕 正一
	木村 寿宏
	小山 正芳
	境 紳隆
	榊原 孝治
	笹渕 真子
	佐藤 成
	澤 朋宏
	杉浦 一弘
	高橋 義人
	中島 清行
	光延 健秀
	村山 大介

【第13回日本アグーナリー実行委員会】

任期：2021年5月11日～任務終了時まで

委員長	増子 恵二
委員	菰池 真史
	櫻井 康博
	真山 明夫
	津田 繁

【商品開発小委員会】

任期：2020年7月9日～2022年5月定時評議員会まで

委員長	磯山 友幸
委員	柏原 一仁
	後藤 貴浩
	早乙女 貴弘
	佐久間 直人
	佐藤 之雄
	佐野 弘明
	澤 朋宏
	福嶋 正己
	山崎 麻子

【RCJオンライン大会実行委員会】

任期：2021年6月16日～任務終了時まで

委員長	尾形 凜太郎
副委員長	小馬 加奈子
委員	佐藤 優真
	白澤 唯
	山路 卓

【新環境プログラム「アースライブ」推進タスクチーム】

任期：2020年10月1日～2022年3月31日

チーム長	嶋田 寛
チーム員	安部 秀
	安齋 会香
	尾形 凜太郎
	笹渕 真子
	柴山 美光
	竹内 和夫
	中野 まり
	中本 祐太
	松平 頼昌
	村田 禎章
	森田 次郎

【環境教育プログラム推進タスクチーム】

任期：2021年7月2日～2021年12月31日まで

主任	神保 雅弘
チーム員	安部 秀
	尾形 凜太郎
	加島 潤
	佐藤 成
	竹内 和夫
	中野 まり
	森田 次郎

【ジュニアリーダー検討タスクチーム】

任期：2021年7月2日～2022年3月31日まで

主任	神保 雅弘
チーム員	坂口 亮二
	佐藤 成
	高橋 聖
	平田 恭一
	古木 啓介

【JOTA-JOTI2021開催タスクチーム】

任期：2021年6月1日～2022年3月31日

主任	桑 英人
チーム員	大石 千秋
	高橋 義人
	パウエル ミヒヤエル
	吉田 信昭

(7)名誉会議

任期：2021年度定時評議員会～2023年度定時評議員会

議長代行	福嶋 正己
北海道・東北ブロック選出議員	本多 勉
関東ブロック選出議員	増田 嘉一郎
中部ブロック選出議員	内田 宏
近畿ブロック選出議員	山本 哲
中国・四国ブロック選出議員	阿部 芳行
九州・沖縄ブロック選出議員	内田 日出男
学識経験者議員	入江 生夫
学識経験者議員	瀧 克己
学識経験者議員	濱田 雅弘
学識経験者議員	宮本 智喜
日本連盟副コミッショナー	氏家 邦政
日本連盟副コミッショナー	川村 悦子

(8)全国ローバースカウト会議

【2020年度RCJ運営委員会】

任期：2020年5月23日～2021年5月29日

議長	尾形 凜太郎
副議長	安齋 会香
	原 瑛
委員	荒岡 草馬
	枝迫 雄大
	岡本 陸
	小川 雄暉
	柴山 美光
	白澤 唯
	砂田 憲廣
	餘多分 裕人
アドバイザー	陰山 雄平
	竹内 和夫

【2021年度RCJ運営委員会】

任期：2021年5月29日～2022年5月28日

議長	安齋 会香
副議長	川越 慈音
	砂田 憲廣
委員	伊藤 芳治
	内田 早映
	岡本 陸
	尾形 凜太郎
	柏本 彩百合
	菊池 桐子
	北村 梨沙
	福井 亜弥
	松永 慶太郎
アドバイザー	陰山 雄平
	佐藤 成

(9)西宮・船坂キャンプ場建設委員会

委員長	黒田 茂
委員	辻本 誠
	高田 真志
	名越 享

(10)理事・監事並びに評議員選定委員会

任期：2021年10月11日～2022年3月31日まで

委員	谷口 修
	船橋 鐸夫
	森谷 治男
	水野 正人
	大坪 文雄
	佐野 友保
	福嶋 正己

(11)トレーニングチーム・ディレクター

任期：2020年4月1日～2022年3月31日まで

ディレクター	栗田 哲郎
副ディレクター	石原 有紀子
	平田 恭一
	吉野 博樹

(12)世界及び地域委員会等委員

アジア太平洋地域

地域・世界の役務	任期	氏名	日本連盟役務
アジア太平洋地域スカウト委員会 副委員長	2018-2024	嶋田 寛	理事、国際コミッショナー
ガバナンス小委員会 委員	2018-2021	出田 行徳	理事
アダルトインスカウティング小委員会 委員	2018-2021	大久保 秀人	理事、指導者養成委員長
コミュニケーション・パートナーシップ小委員会 委員	2018-2021	松平 頼昌	国際副コミッショナー
財団運営委員会 委員	2018-2021	村山 正	
表彰委員会 委員	2018-2021	鈴木 令子	相談役

(13) 名誉役員

任期：2022年3月31日まで

	氏 名	役 職
総 裁	御手洗 富士夫	キヤノン(株) 代表取締役会長兼社長 C E O
総 長	奥 島 孝 康	早稲田大学第14代総長、スカウト東京連盟 連盟長
特別顧問	大 谷 光 淳	浄土真宗本願寺派 門主
	岡 谷 篤 一	ボーイスカウト愛知連盟 連盟長、 岡谷鋼機(株) 取締役社長
	金 光 浩 道	金光教 教主
	樋 口 武 男	大和ハウス工業(株) 最高顧問
	森 喜 朗	元内閣総理大臣、ボーイスカウト振興国会議員連盟名誉会長
顧 問	逢 沢 一 郎	衆議院議員、ボーイスカウト振興国会議員連盟会長
	阿 部 昌 宏	天台宗 宗務総長
	石 上 智 康	浄土真宗本願寺派 総長
	木 越 涉	真宗大谷派 宗務総長
	久 米 邦 貞	元 副理事長・国際コミッショナー
	杉 原 正	元 常務理事・総コミッショナー
	鈴 木 國 夫	元 理事・総コミッショナー
	田 中 恆 清	神社本庁 総長
	長 澤 好 之	世界救世教 管長
	西 村 稔	元 専務理事・中央審議会副議長
	日 枝 久	元 副理事長、フジサンケイグループ 代表
	松 平 頼 武	元 副理事長、ボーイスカウト香川連盟 連盟長、 学校法人本郷学園 名誉理事長
	山 本 一 郎	元 副理事長・名誉会議議長
相談役	荒 尾 雅 也	世界スカウト財団 理事、元理事・事務局長
	井 上 保	元 理事・教育本部コミッショナー
	齊 藤 斗志二	元 ボーイスカウト振興国会議員連盟会長
	鈴 木 令 子	元 理事、ボーイスカウト神奈川連盟 副理事長
	廣 瀬 修	元 副理事長
	堀 秀 之	元 評議員・中央審議会副議長
	増 田 嘉一郎	元 監事、ボーイスカウト東京連盟 監事
	松 本 宏	元 理事
参与	犬 飼 康 元	元 理事
	宇 野 眞 之	元 中央審議会副議長
	酒 井 繁	元 監事、ボーイスカウト神奈川連盟 参与
	鈴 木 節 子	元 評議員
	瀬 濤 康 匡	元 理事・評議員
	山 田 知 輝	元 評議員

総裁 1 人 総長 1 人 特別顧問 5 人 顧問 13 人 相談役 8 人 参与 6 人 合計 34 人

(14) 称号

	氏 名	役 職
先達	久 米 邦 貞	ボーイスカウト日本連盟 顧問
	杉 原 正	ボーイスカウト日本連盟 顧問
	鈴 木 國 夫	ボーイスカウト日本連盟 顧問
	山 本 一 郎	ボーイスカウト日本連盟 顧問

先達 4 人

(1 5) 県連盟コミッショナー

県 連	氏 名
北海道	今 井 建
青 森	三 浦 雅 人
岩 手	小 林 俊 将
宮 城	中 橋 邦
秋 田	吉 田 司
山 形	大 江 裕 樹
福 島	大 槻 富 寛
茨 城	若 林 正 則
栃 木	中 村 利 久
群 馬	碓 井 健 文
埼 玉	中牟田 和 彦
千 葉	片 寄 朗
神奈川	清 水 裕
山 梨	中 村 忍
東 京	村 山 大 介
新 潟	平 田 則 行
富 山	長 守 崇
石 川	稲 葉 豊
福 井	赤 崎 好 治
長 野	武 田 清 武
岐 阜	日比野 守
静 岡	小 林 透
愛 知	長谷川 榮 一
三 重	柴 田 伸 彦

任期：2022年12月31日まで

県 連	氏 名
滋 賀	田 中 隆 弘
京 都	谷 口 平八朗
兵 庫	高 田 真 志
奈 良	宮 脇 誠 一
和歌山	中 谷 新 治
大 阪	西 田 俊 幸
鳥 取	坪 倉 顕 示
島 根	岩 田 春 子
岡 山	横 山 卓 生
広 島	森 本 正 彦
山 口	小 橋 克 哉
徳 島	新 浜 博 文
香 川	今 岡 秀 之
愛 媛	横 井 寿 子
高 知	黒 瀬 渡
福 岡	結 城 利 章
佐 賀	枝 吉 和 彦
長 崎	堀 本 進
熊 本	九十九 宗 俊
大 分	真 田 康 広
宮 崎	村 永 盛 哉
鹿児島	林 洋 市
沖 縄	川 端 登

